

2026年専門図書館協議会
全国研究集会

専門図書館における 継承と世代交代

2026年7月8日(水)

専門図書館協議会研修委員会

内容

1. アンケート実施の経緯と概要
2. 基礎集計
3. クロス集計
4. 自由記述
5. まとめ

1. アンケート実施の経緯と概要

まず、はじめに

お忙しいところ、回答くださったすべての方々に感謝申し上げます。

アンケート実施の経緯

- 専門図書館協議会全国研究集会の参加者アンケートや研修委員間での議論の中で、専門図書館における継承や世代交代が話題にあがった。
- それぞれの職場では課題として認識されていても、他館の人との会話の中で話題にもなりにくいことから、なんとか事例を共有できないかと考えた。
- 登壇者を立てることも検討していたところ、美術史学会における「学芸員のキャリア・トランジション」に関するアンケートとシンポジウムを知り、研修委員会としてアンケートを行ってみるようになった。
 - cf. 菅原真弓. E2892 – 学芸員のキャリア・トランジション2—「現場の生の声」を聞く、そして考える—〈報告〉. カレントアウェアネス-E. No.525. 2026.06.25. <https://current.ndl.go.jp/e2892>

アンケートの概要

- アンケート概要

専門図書館協議会研修委員会では、図書館の現場で働く皆さんの課題に向き合うべく各種イベントを実施してきました。参加者の方々からいただいた感想、そして図書館で働く研修委員においても、専門図書館で働く人の育成や継承に関する課題が挙げられます。こうした課題は、各館での取り組みこそなされるものの、館を超えて共有されることは少ないのではないのでしょうか。

そこで本委員会では、専門図書館における世代交代や継承に関する現場の実情を把握し、そして専門図書館同士で共有することを目指し、アンケートを行います。本アンケートの集計結果は、2026年7月上旬に実施される専門図書館協議会全国研究集会において報告いたします。なお、ご回答内容については、自由記述を含め、全国研究集会における報告や機関誌『専門図書館』紙面、専門図書館協議会ウェブサイトで、個人や館の特定されないかたちで取り上げることがあります。

現場で日々勤務されている皆さんからの貴重なお声を、心よりお待ちしております。

アンケートの概要

- アンケート名： 専門図書館における継承・世代交代に関するアンケート
- 対象： 専門図書館で勤務している方(回答は一人につき1回、館で取りまとめる必要なし、として依頼。)
- 実施期間： 2026年5月15日(金)～ 6月17日(水)
- 実施方法： Googleフォーム。専図協メーリングリストを始めとした各種メーリングリスト等により、フォームURLを送信。
- 回答数： 110(選択式設問は必須のため、すべて回答数110)

アンケートの概要

- 設問

- (1) あなたが現在勤務する図書館は、専門図書館協議会の会員館ですか？
- (2) あなたが現在勤務する図書館の区分について、以下のうち該当するものを選択してください。
- (3) あなたが現在勤務する図書館のスタッフ数は、何人ですか。以下より該当するものを選んでください(専任、兼任、常勤、非常勤を含む)。
- (4) あなたは現在勤務する図書館で何年働いていますか。以下より該当するものを選んでください。
- (5) あなたが現在行っている業務について、前任者からの引継ぎはありましたか。
- (6) 設問5で「あった」と回答した方にお尋ねします。どのような引継ぎがありましたか(方法や内容など)。具体的にお答えください。
- (7) あなたは現在の勤務館で、業務の引継ぎを行ったことがありますか。
- (8) 設問7で「はい」と回答した方にお尋ねします。業務の引継ぎについて感じた課題やご意見について、具体的にお答えください。

アンケートの概要

- 設問

(9) あなたが現在行っている業務に関するマニュアルはありますか。

(10) どのような業務にマニュアルがあるのか(または、ないのか)、具体的にお答えください。また、マニュアルに関する課題やご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。

(11) あなたの現在勤務する図書館における、図書館運営等に関する知識や経験、技能の継承や職員の世代交代について、あなたの考えに一番近いものを選んでください。

(12) 図書館運営等に関する知識や経験、技能の継承や職員の世代交代について、ご自由にお書きください。

(13) 過去に勤務した図書館がある場合、その館での引継ぎに関するご経験について、差し支えなければ館種やスタッフ数を明記のうえ、ご記入ください。

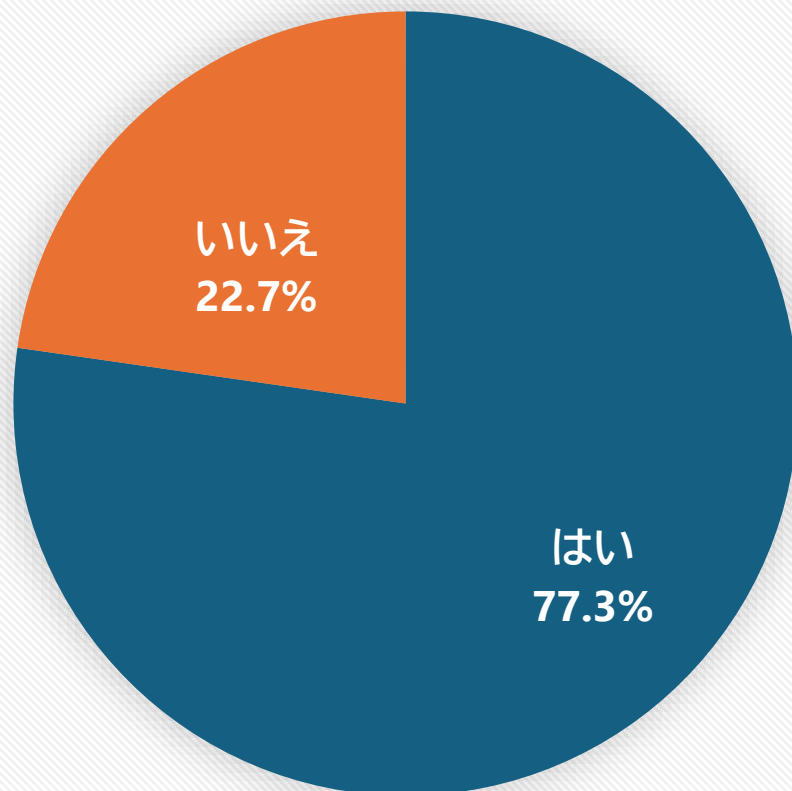
(14) 本アンケートに関すること等、ご意見やご感想がありましたらご自由にお書きください。

(15) 今後、専門図書館協議会研修委員会で行う企画等にご協力いただける場合は、お名前とご連絡先をご記入ください。

2. 基礎集計

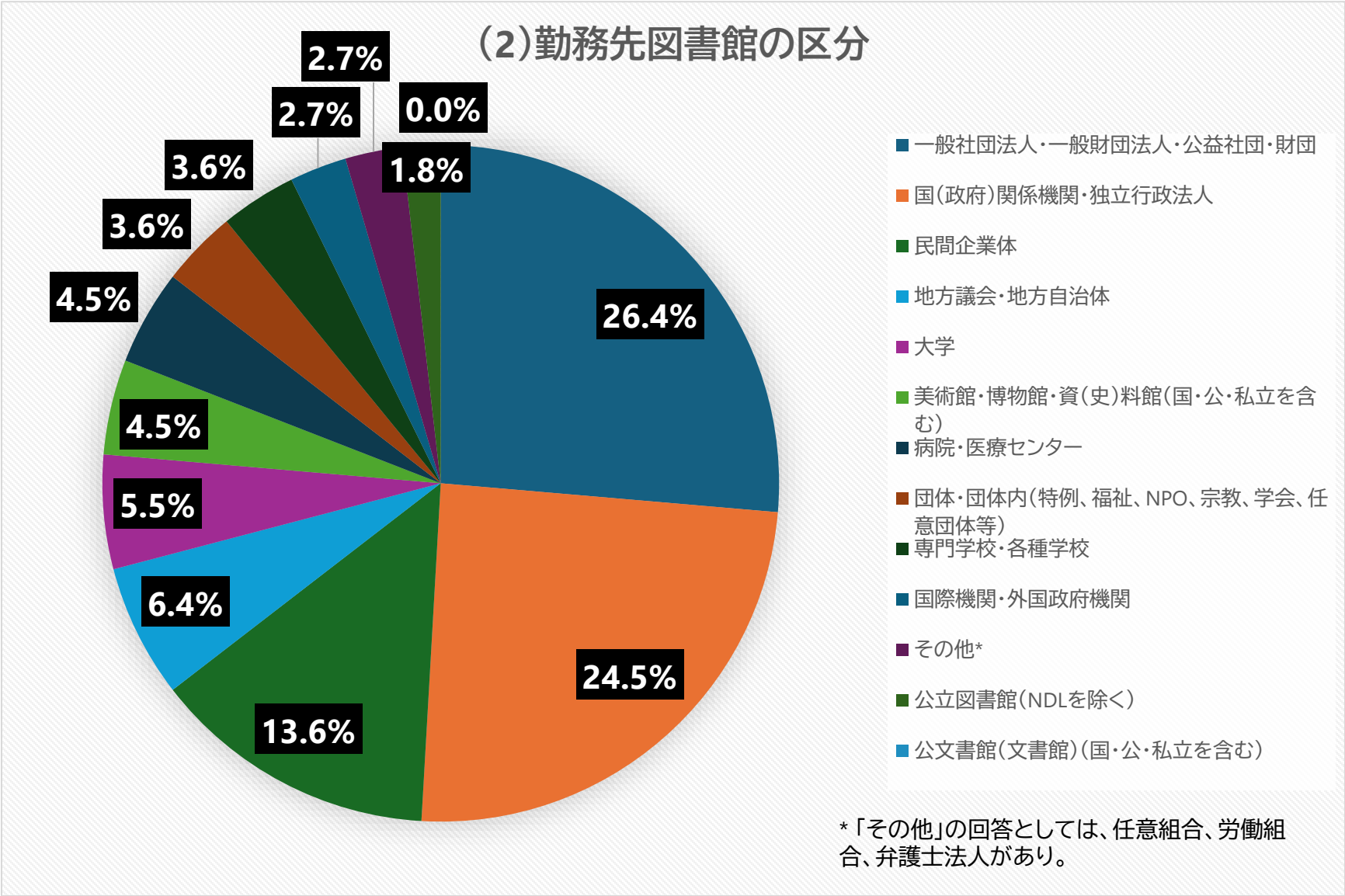
(1) あなたが現在勤務する図書館は、専門図書館協議会の会員館ですか？

(1)勤務先は専図協会員館か



選択肢	回答数
はい	85
いいえ	25

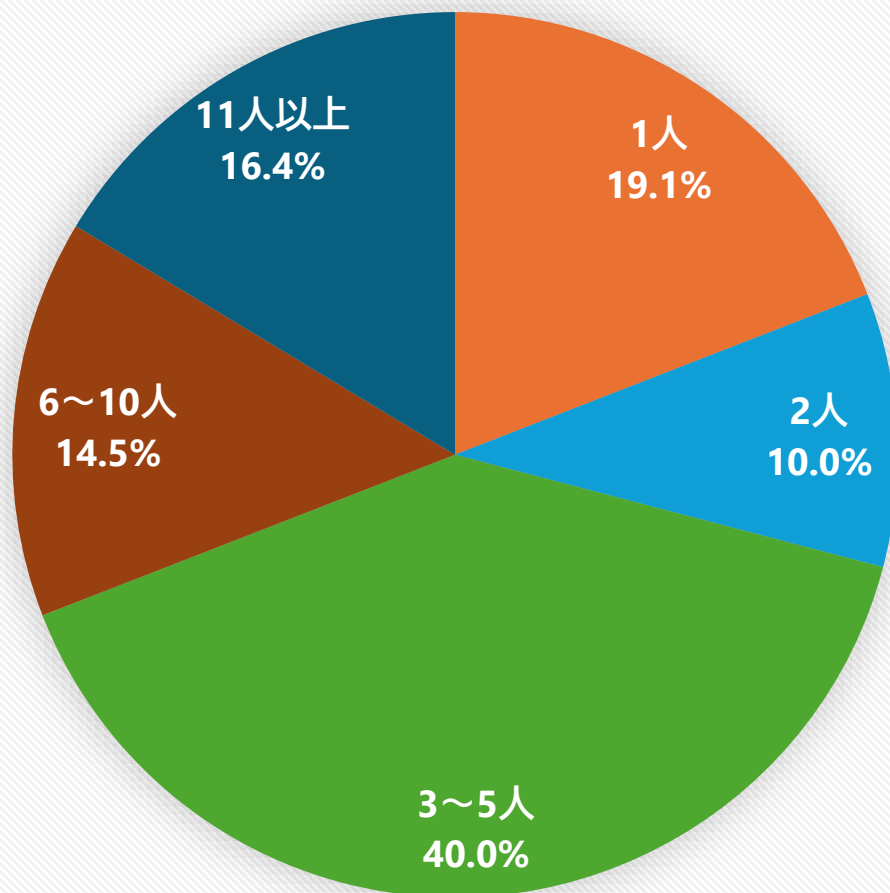
(2) あなたが現在勤務する図書館の区分について、以下のうち該当するものを選択してください。



選択肢	回答数
一般社団法人・一般財団法人・公益社団・財団	29
国(政府)関係機関・独立行政法人	27
民間企業体	15
地方議会・地方自治体	7
大学	6
美術館・博物館・資(史)料館(国・公・私立を含む)	5
病院・医療センター	5
団体・団体内(特例、福祉、NPO、宗教、学会、任意団体等)	4
専門学校・各種学校	4
国際機関・外国政府機関	3
その他	3
公立図書館(NDLを除く)	2
公文書館(文書館)(国・公・私立を含む)	0

(3) あなたが現在勤務する図書館のスタッフ数は、何人ですか。以下より該当するものを選んでください(専任、兼任、常勤、非常勤を含む)。

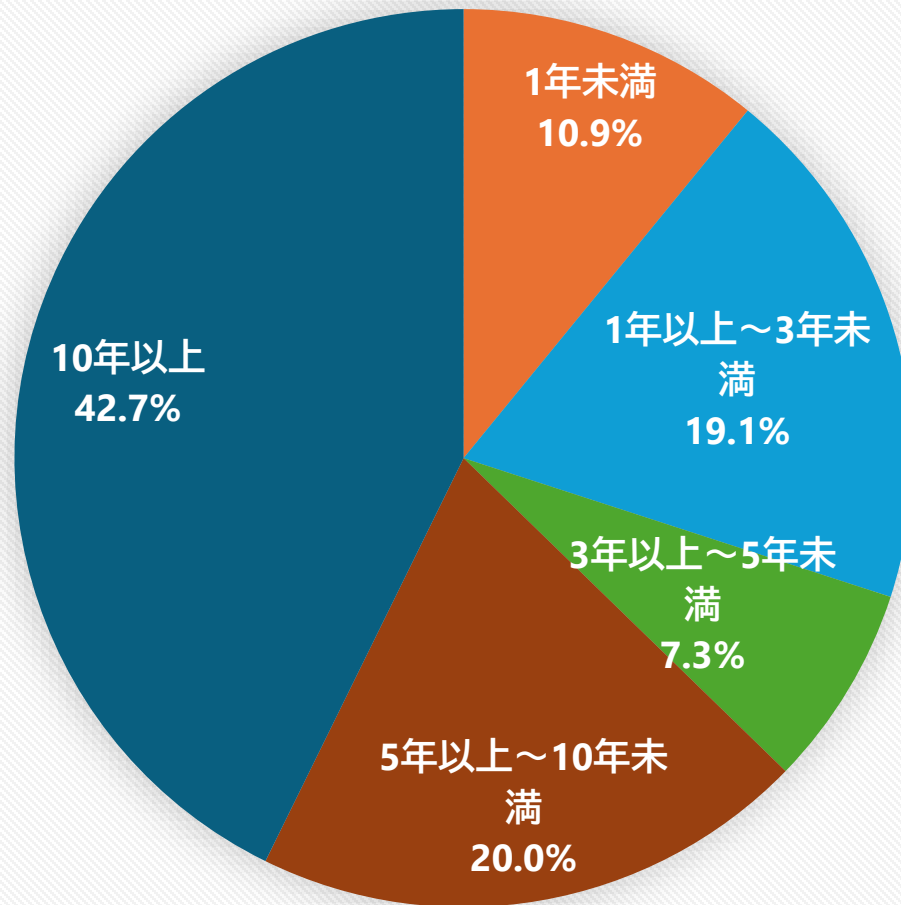
(3)勤務先図書館のスタッフ数



選択肢	回答数
1人	21
2人	11
3～5人	44
6～10人	16
11人以上	18

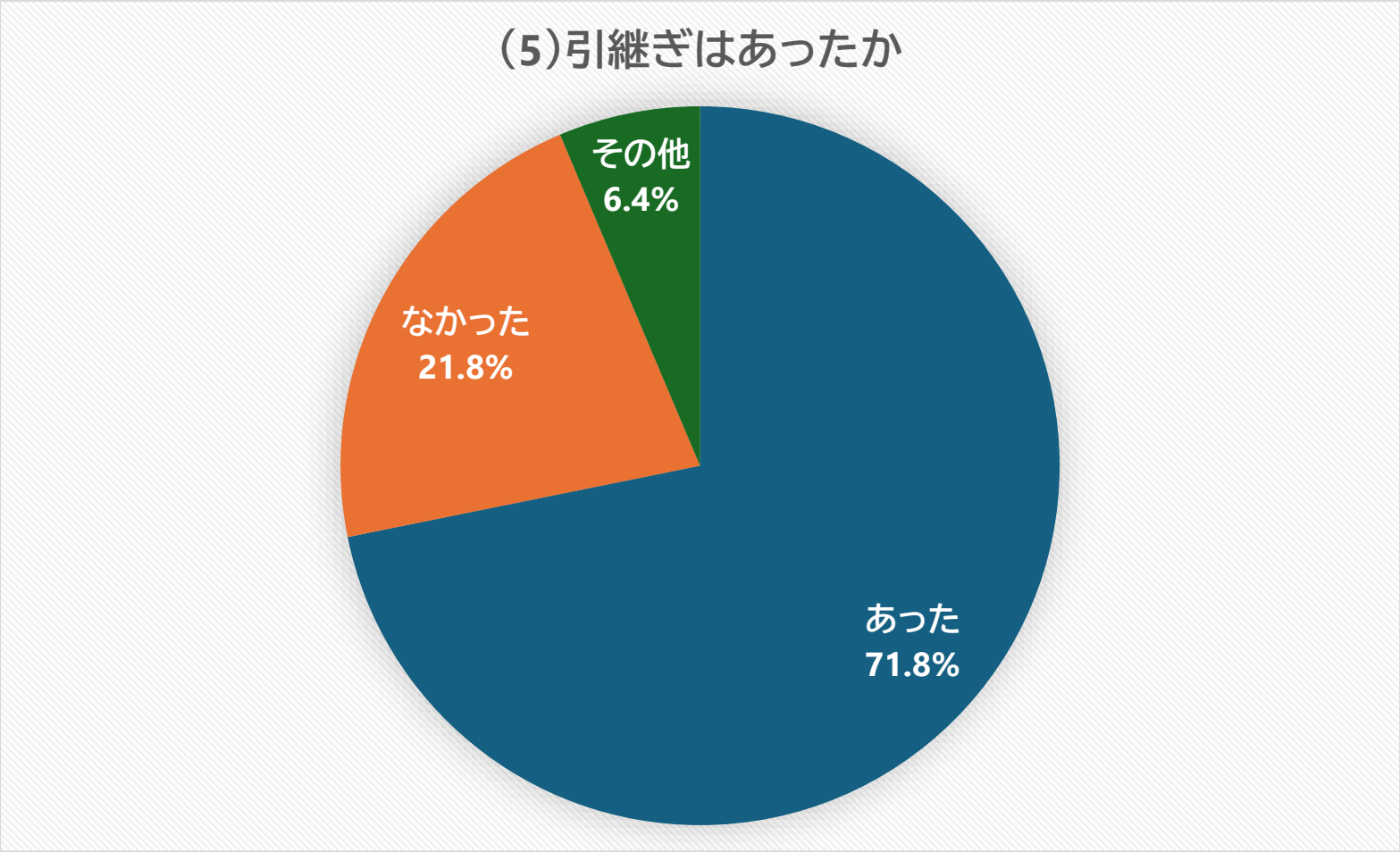
(4) あなたは現在勤務する図書館で何年働いていますか。以下より該当するものを選んでください。

(4)勤務先図書館の勤続年数



選択肢	回答数
1年未満	12
1年以上～3年未満	21
3年以上～5年未満	8
5年以上～10年未満	22
10年以上	47

(5) あなたが現在行っている業務について、前任者からの引継ぎはありましたか。



選択肢	回答数
あった	79
なかった	24
その他	7

その他の回答内容(抜粋)
当日配布資料限り

(6) 設問5で「あった」と回答した方にお尋ねします。どのような引継ぎがありましたか(方法や内容など)。具体的にお答えください。

回答:76件

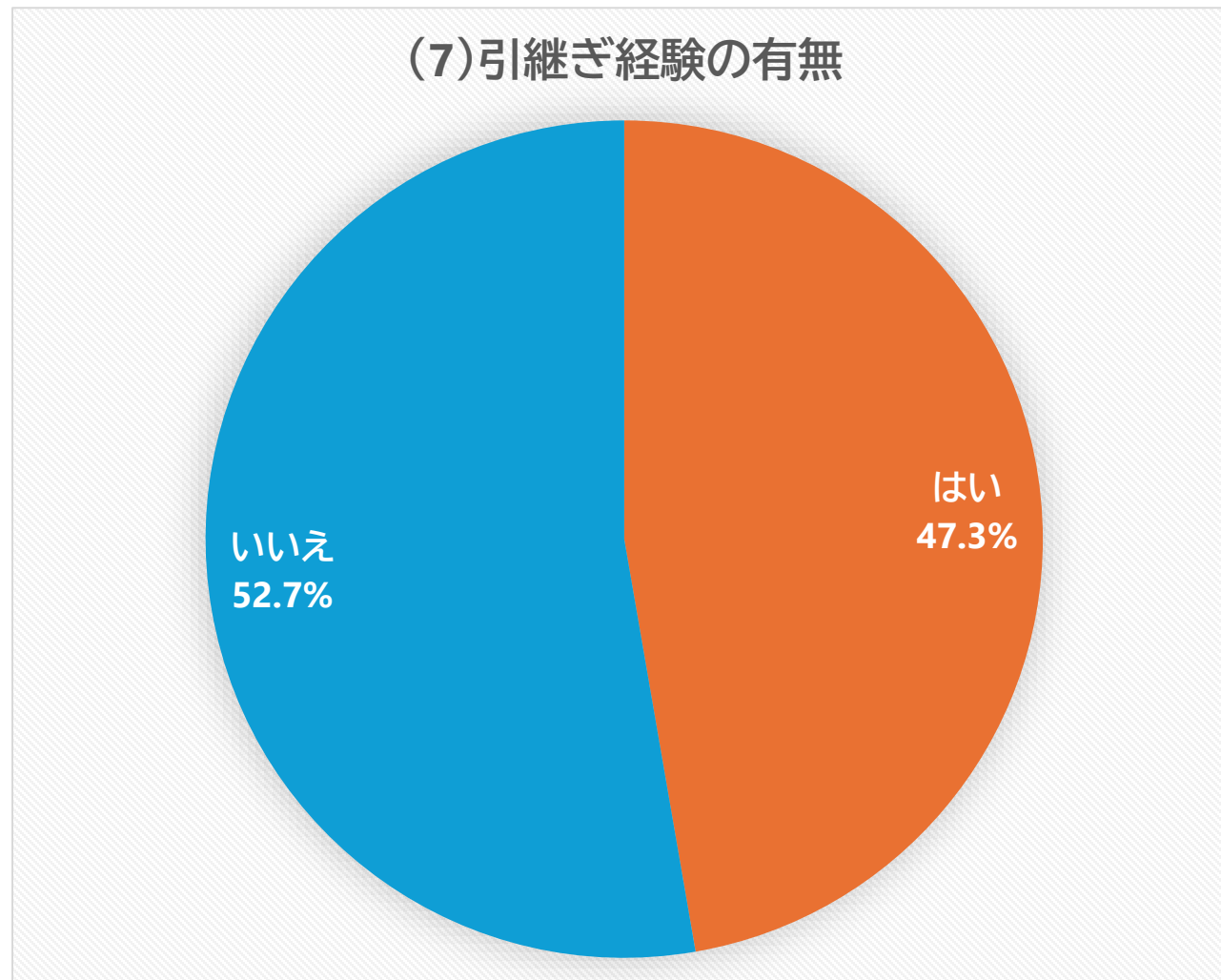
回答者の属性:

スタッフ数	回答数
1人	12
2人	8
3～5人	30
6～10人	12
11人以上	14

勤務年数	回答数
1年未満	12
1年以上～3年未満	15
3年以上～5年未満	4
5年以上～10年未満	13
10年以上	32

館の区分	回答数
一般社団法人・一般財団法人・公益社団・財団	21
国(政府)関係機関・独立行政法人	19
民間企業体	8
国際機関・外国政府機関	2
大学	5
美術館・博物館・資(史)料館(国・公・私立を含む)	2
公立図書館(NDLを除く)	2
団体・団体内(特例、福祉、NPO、宗教、学会、任意団体等)	3
地方議会・地方自治体	7
病院・医療センター	3
専門学校・各種学校	3
任意組合	1

(7) あなたは現在の勤務館で、業務の引継ぎを行ったことがありますか。



選択肢	回答数
はい	52
いいえ	58

(8) 設問7で「はい」と回答した方にお尋ねします。業務の引継ぎについて感じた課題やご意見について、具体的にお答えください。

回答:46件

回答者の属性:

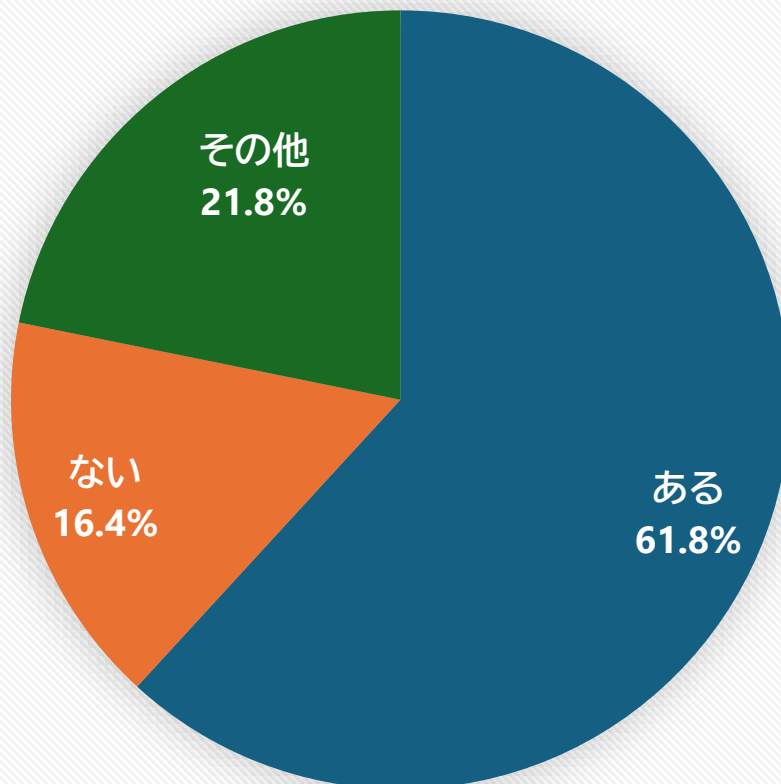
スタッフ数	回答数
1人	5
2人	3
3～5人	18
6～10人	10
11人以上	10

勤務年数	回答数
1年未満	3
1年以上～3年未満	4
3年以上～5年未満	2
5年以上～10年未満	9
10年以上	28

館の区分	回答数
国(政府)関係機関・独立行政法人	12
民間企業体	6
一般社団法人・一般財団法人・公益 社団・財団	13
弁護士法人	1
大学	4
公立図書館(NDLを除く)	2
団体・団体内(特例、福祉、NPO、宗教、 学会、任意団体等)	1
美術館・博物館・資(史)料館(国・公・ 私立を含む)	1
病院・医療センター	1
専門学校・各種学校	3
任意組合	1
国際機関・外国政府機関	1

(9) あなたが現在行っている業務に関するマニュアルはありますか。

(9)マニュアルの有無



選択肢	回答数
ある	68
ない	18
その他*	24

*「その他」としては、「一部あり」等、マニュアルのある業務とない業務がある旨の回答がほとんどを占めた。

(10) どのような業務にマニュアルがあるのか(または、ないのか)、具体的にお答えください。
また、マニュアルに関する課題やご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。

回答:93件

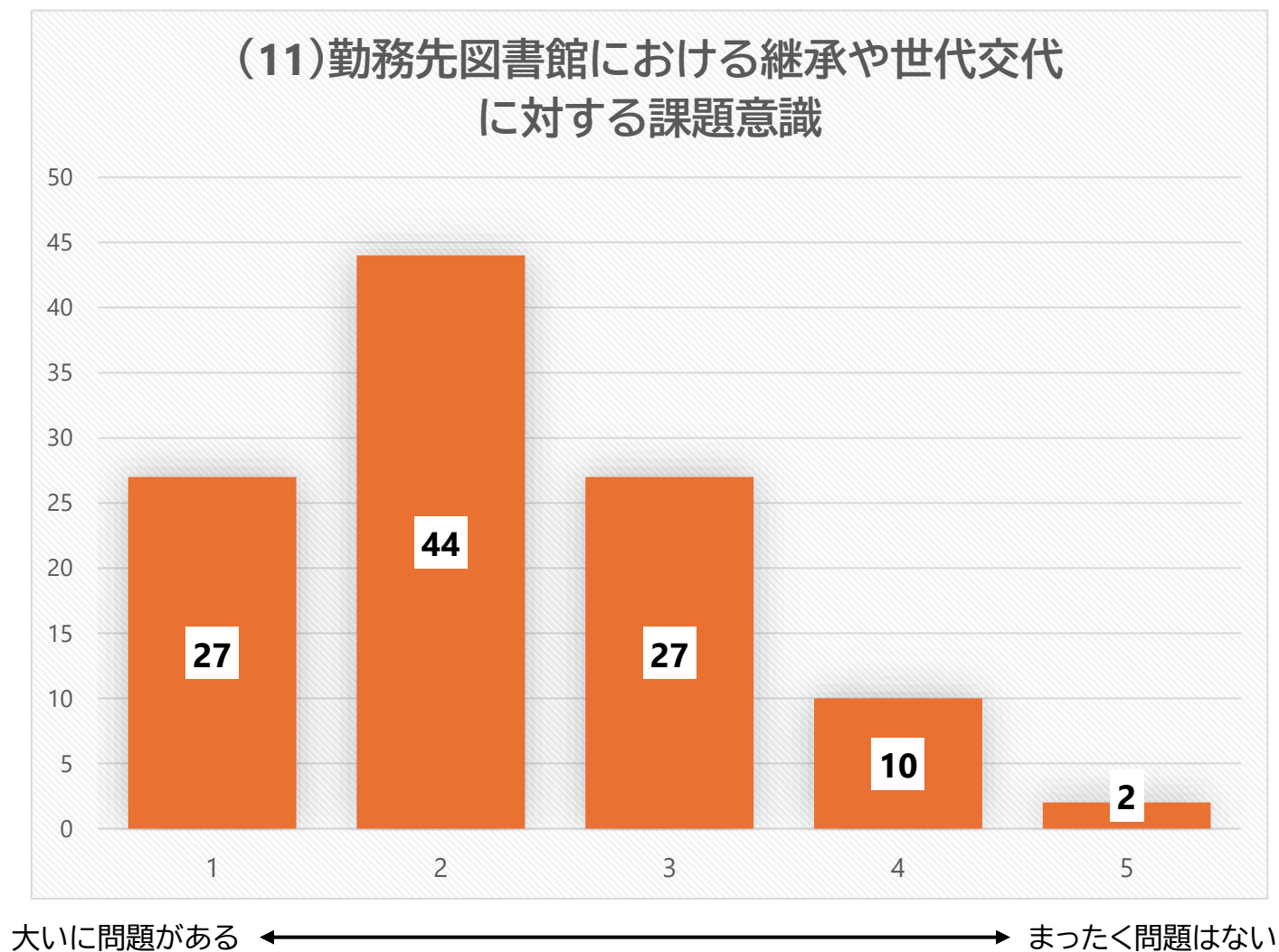
回答者の属性:

スタッフ数	回答数
1人	17
2人	8
3～5人	38
6～10人	15
11人以上	15

勤務年数	回答数
1年未満	10
1年以上～3年未満	19
3年以上～5年未満	8
5年以上～10年未満	17
10年以上	39

館の区分	回答数
一般社団法人・一般財団法人・公益社団・財団	25
国(政府)関係機関・独立行政法人	24
美術館・博物館・資(史)料館(国・公・私立を含む)	5
国際機関・外国政府機関	3
弁護士法人	1
大学	5
団体・団体内(特例、福祉、NPO、宗教、学会、任意団体等)	4
公立図書館(NDLを除く)	2
民間企業体	11
地方議会・地方自治体	6
病院・医療センター	2
専門学校・各種学校	4
任意組合	1

(11) あなたの現在勤務する図書館における、図書館運営等に関する知識や経験、技能の継承や職員の世代交代について、あなたの考えに一番近いものを選んでください。



選択肢	回答数
1	27
2	44
3	27
4	10
5	2

- 中央値、最頻値は、ともに2。

(12) 図書館運営等に関する知識や経験、技能の継承や職員の世代交代について、ご自由にお書きください。

回答:84件

回答者の属性:

スタッフ数	回答数
1人	14
2人	9
3～5人	39
6～10人	13
11人以上	9

勤務年数	回答数
1年未満	8
1年以上～3年未満	15
3年以上～5年未満	6
5年以上～10年未満	14
10年以上	41

館の区分	回答数
一般社団法人・一般財団法人・公益 社団・財団	25
国(政府)関係機関・独立行政法人	19
美術館・博物館・資(史)料館(国・公・ 私立を含む)	5
国際機関・外国政府機関	3
弁護士法人	1
大学	6
民間企業体	10
団体・団体内(特例、福祉、NPO、宗教、 学会、任意団体等)	4
労働組合	1
地方議会・地方自治体	5
病院・医療センター	2
専門学校・各種学校	2
任意組合	1

(13) 過去に勤務した図書館がある場合、その館での引継ぎに関するご経験について、差し支えなければ館種やスタッフ数を明記のうえ、ご記入ください。

回答:38件

回答内容で言及された館種:

館種	回答数(延べ数)
大学	13
専門	9
公共	2
学校	2
不明	3

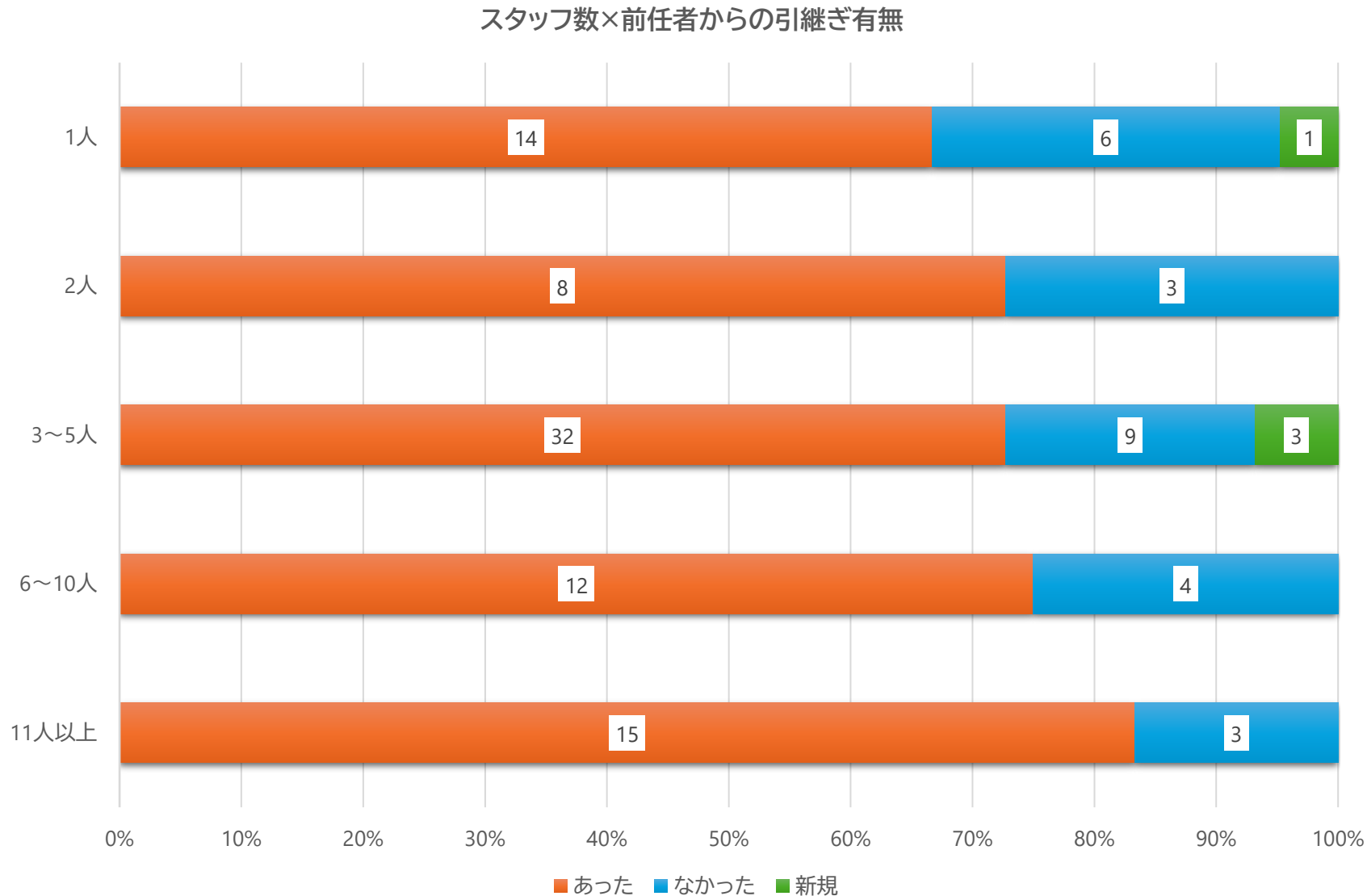
(14)本アンケートに関する事等、ご意見や感想がありましたらご自由にお書きください。

回答:28件(以下に一部を抜粋)

当日配布資料限り

3. クロス集計

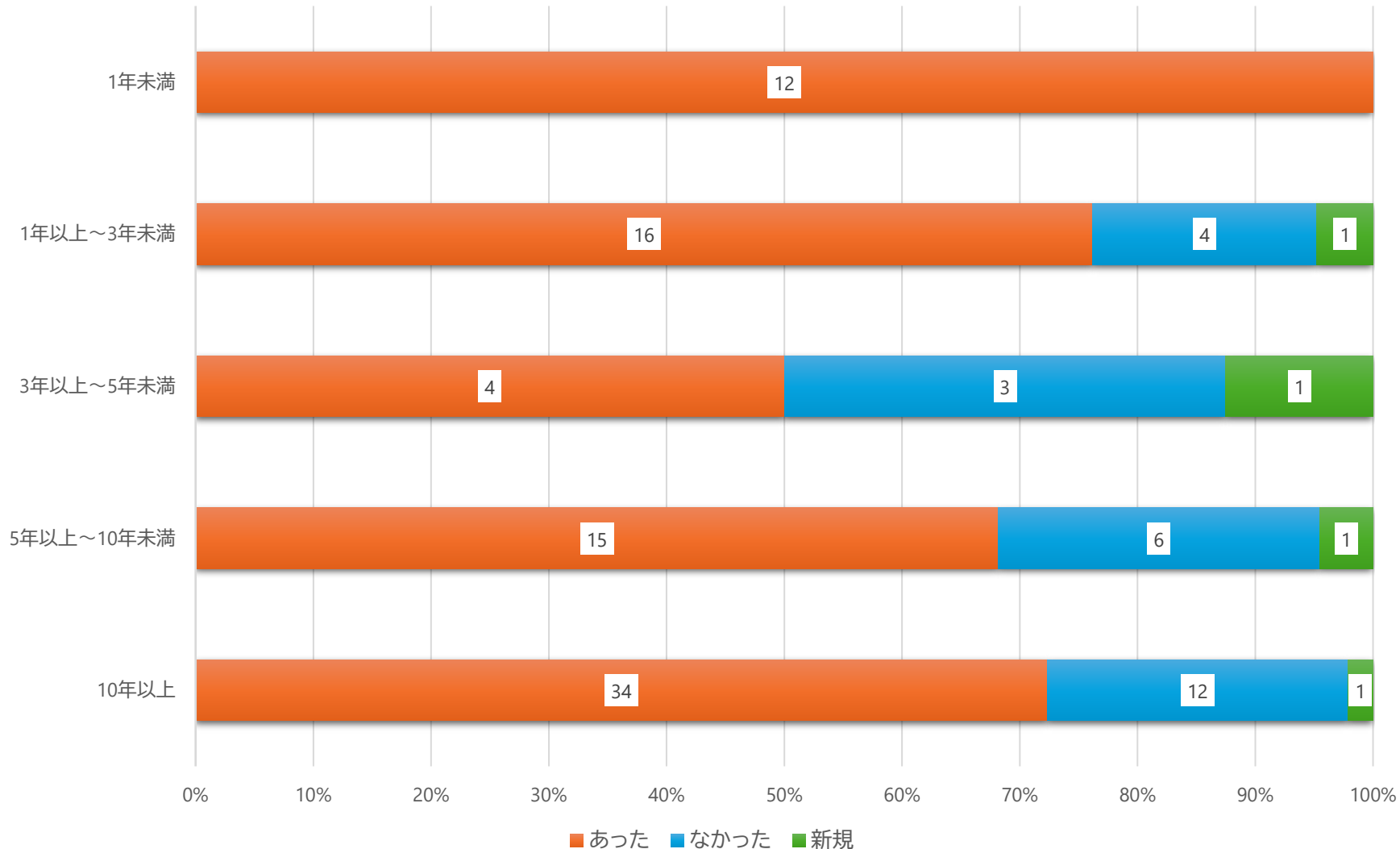
スタッフ数により、前任者からの引継ぎの有無に差異があるか？



- 引継ぎ有無設問の「その他」の記述内容を、新規(大きな業務変更含む)、あった、なかったに分類し直して集計。
- スタッフ数が多くなるにつれて、引継ぎが行われた割合も高くなる。
- ただし、スタッフ数と引継ぎの有無との関連性は、明確には見られない。

勤務年数により、前任者からの引継ぎの有無に差異があるか？

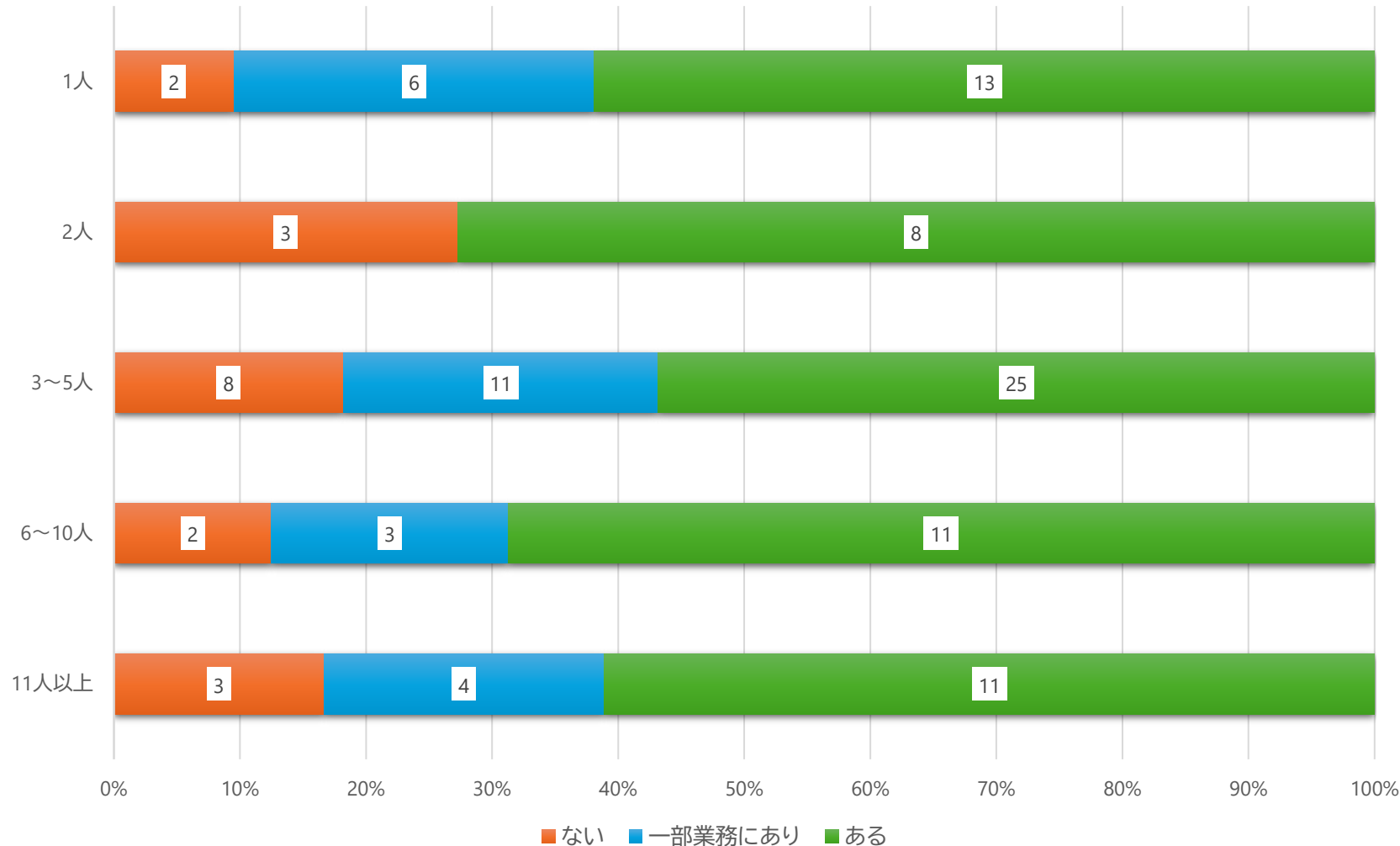
勤務年数×前任者からの引継ぎ有無



- 勤務年数1年未満においては、回答者のすべてが引継ぎを受けている。
- 一方で、勤務年数が長くなると、現在の業務について引継ぎを受けていない場合もある。
- 本アンケートの回答者においては、勤務年数が短い人ほど、引継ぎを受けている傾向にある。

スタッフ数により、マニュアルの有無に差異があるか？

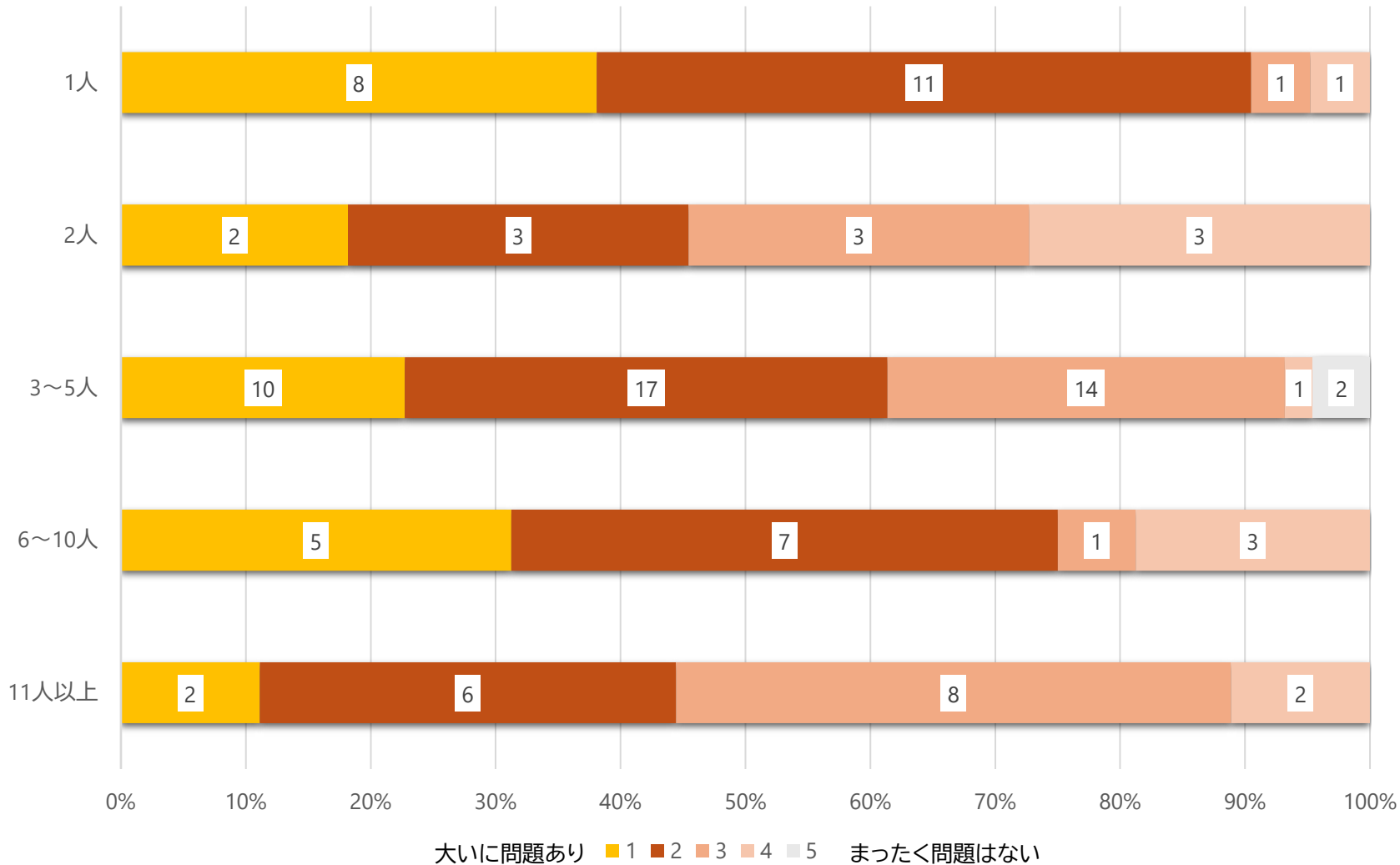
スタッフ数×マニュアル有無



- マニュアル有無の記述内容を、ある、一部業務にあり、ない、に分類し直して集計。
- 全くマニュアルがないのは、多くても3割弱(スタッフ数2人)。
- スタッフ数とマニュアルの有無には、明確な関連性は見られない。

スタッフ数により、課題意識に差異があるか？

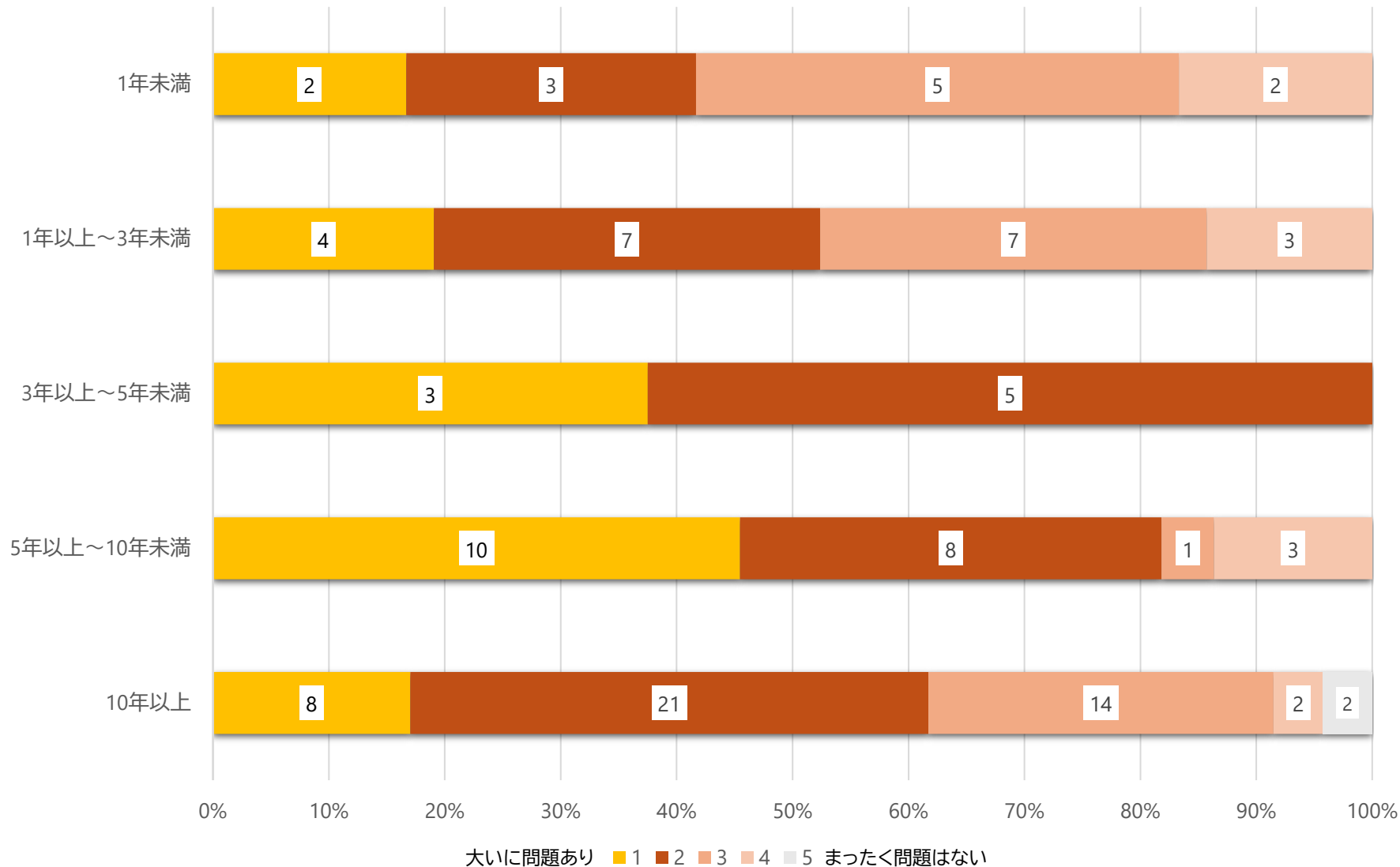
スタッフ数×継承や世代交代に関する課題意識



- ワンパーソンの場合は、継承や世代交代に関する課題意識の大きさが明確に見てとれる。
- 1人および6～10人の場合に、相対的に課題意識が大きい。
- 一方で、2人の場合には、1人および3～5人よりも、課題を感じる人が相対的に少ない。また、11人以上でも課題を感じる人が相対的に少ない。
- 必ずしも人数と比例するわけではなく、規模に応じて課題意識に差異が生じている。特に、ワンパーソンと中規模のスタッフ数の場合に課題を感じている。

勤務年数により、課題意識に差異があるか？

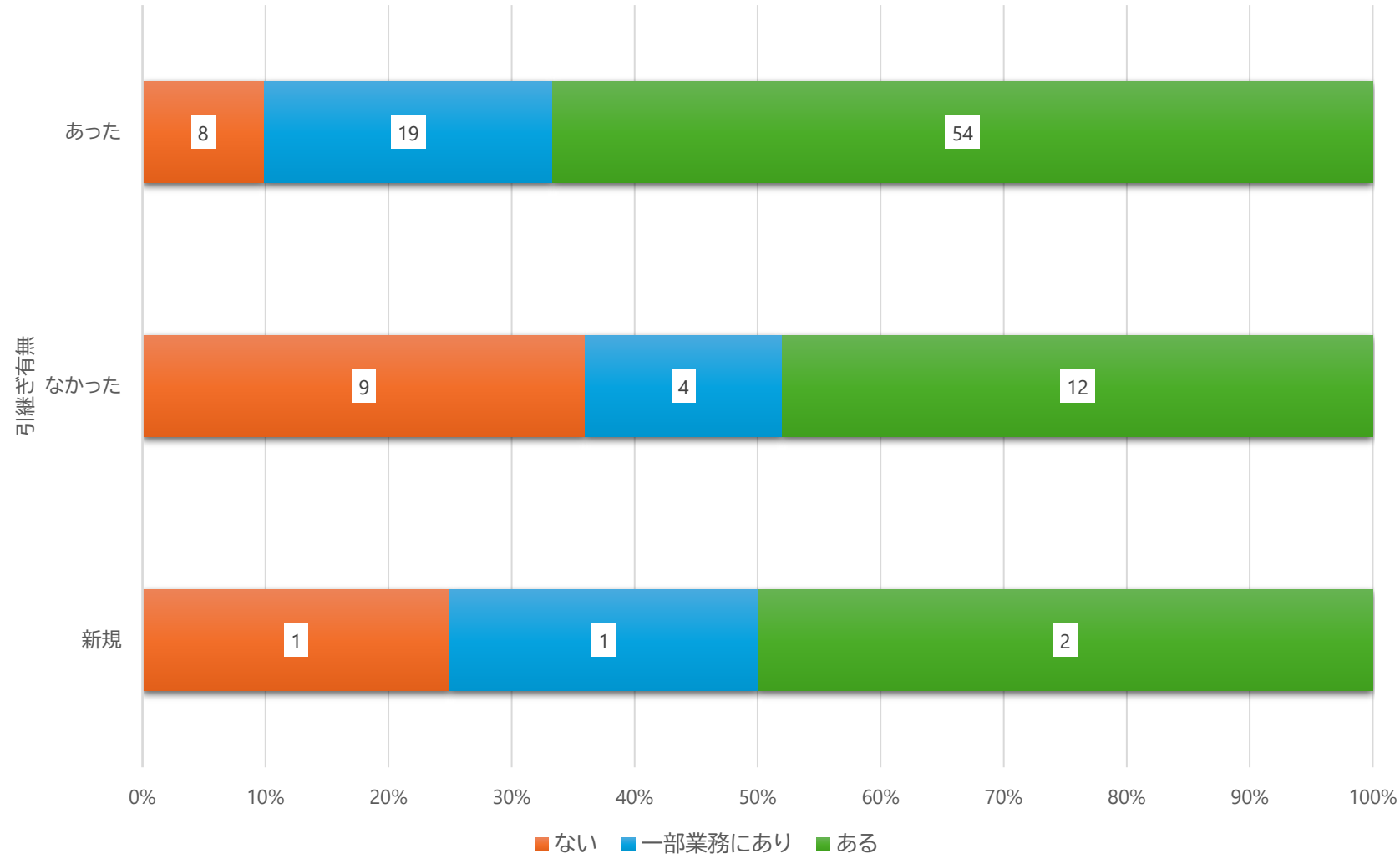
勤務年数×継承や世代交代に関する課題意識



- 単なる勤務年数と課題意識の関連性は見出しがたい。
- 「3年以上5年未満」の回答者における課題意識が突出して高く、「5年以上10年未満」が次ぐ。
⇒有期雇用の契約年限も関連するか？
- 「10年以上」の場合は、課題を感じる割合が減少。課題を感じていない回答は、「10年以上」のみに見られる。

引継ぎの有無とマニュアルの有無に関連はあるか？

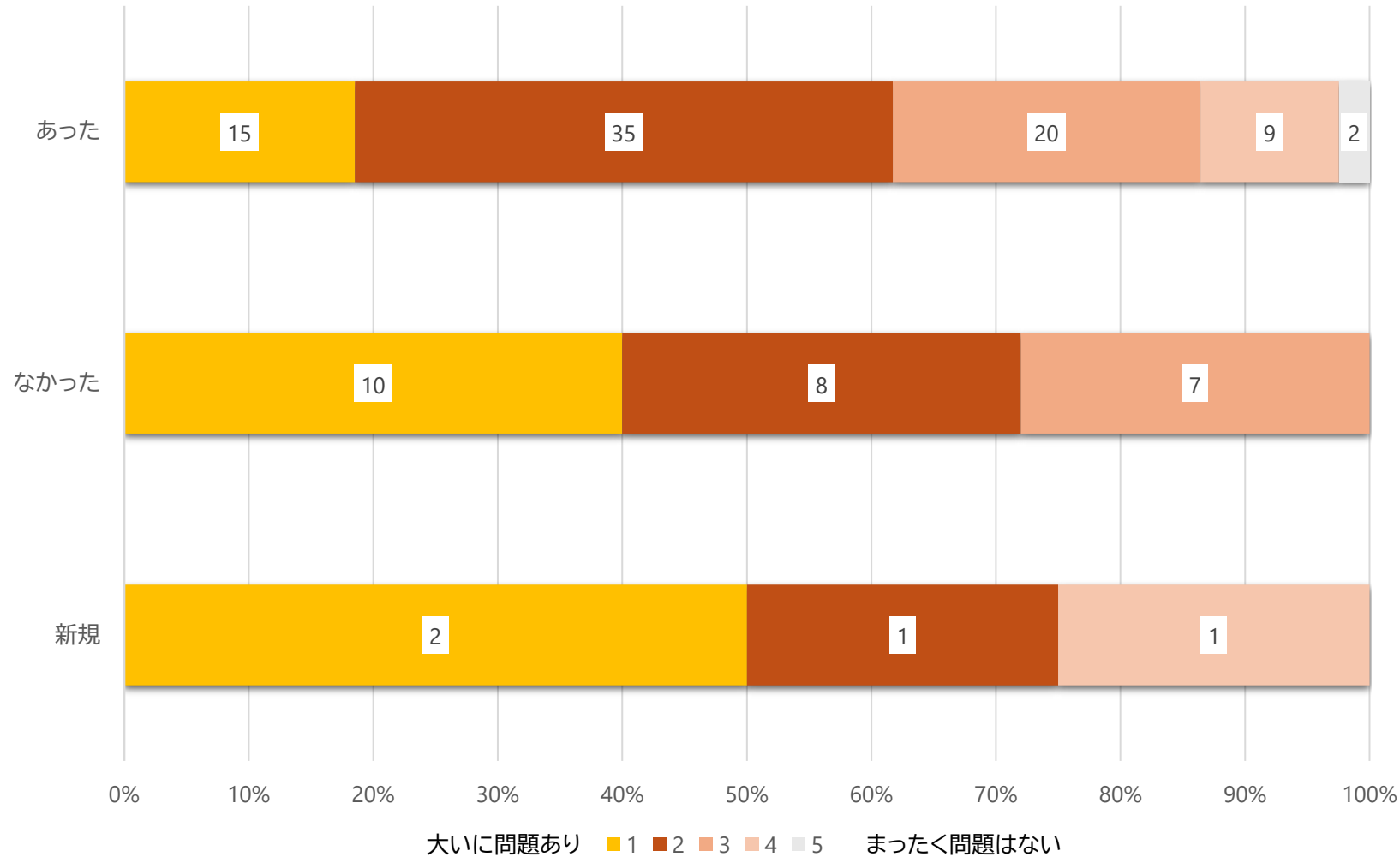
引継ぎ有無×マニュアル有無



- 引き継ぎ有無におけるその他の記述内容を、新規(大きな業務変更含む)、あった、なかったに分類し直して集計。
- 新規を除外して検討すると、引継ぎがある場合、マニュアルもあると回答している。
=引継ぎがない場合に、マニュアルもないことが多い。
- 引継ぎの有無とマニュアルの有無には関連性あり。

引継ぎの有無により、課題意識に差異があるか？

引継ぎ有無×継承や世代交代に関する課題意識



- 引継ぎがなかった場合は、あった場合に比べて、課題を感じる傾向にある。
- ただし、引継ぎがあった場合でも、問題ありの上位2項目を回答した人が6割を超えており、全体として課題を感じている人が多い。
- 全体として、引継ぎの有無と課題意識との関連性はそれほど明確ではない。引継ぎがある方が課題意識が低くなる傾向にある。といえるか。

小括

- 引継ぎの有無は、スタッフ数よりもマニュアルの有無と関連している。
- スタッフ数はマニュアルの有無と関連していない。
- スタッフ数と課題意識との間には、人数が多くなるほど課題意識が低くなるような関連性は見られないが、スタッフ数1人と6～10人では課題意識が高くなっている。
- 勤務年数と課題意識との間に明確な関連性は見られない。

4. 自由記述

自由記述の報告内容について

- 自由記述回答のすべてを本報告中で言及するのは、困難。
- そのため、自由記述の回答内容について、どのような語が多く使われているのか、どの語とどの語が一緒に使われているのかを提示することにより、自由記述回答の全体像の理解の一助となることを目指す。
- そのために、テキストマイニングツールである[KH Coder](#)を利用した。
 - KH Coderは、PCのローカル環境で動かすソフトウェアであり、アンケート回答内容の外部送信等は行っていない。
- 以降は、各設問の回答内容について、複数回使用された語の一覧(上位150語)、上位60語がどれくらい使われ、かつどのような語と一緒に使われたのかを表す図(ワードクラウドに文脈を加味したもの)を示す。

(参考)テキストマイニングとKH Coder

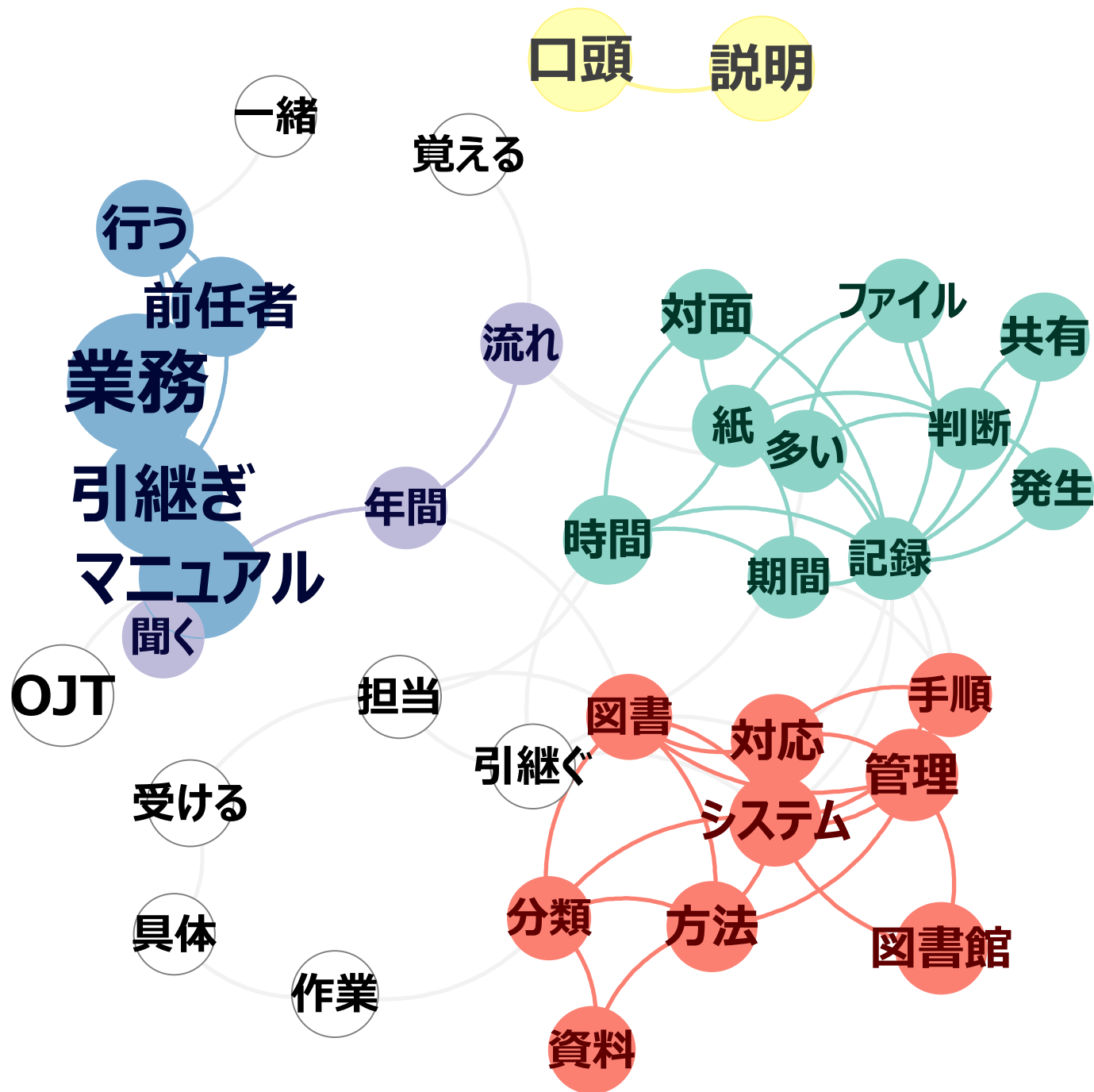
- テキストマイニング:広義には、統計的にテキストを分析すること。
 - 今回は特に、「計量テキスト分析」という方法を、KH Coderというソフトウェアを用いて実施した。このソフトウェアについては、樋口耕一『社会調査のための計量テキスト分析 第2版』ナカニシヤ出版、2020年;『動かして学ぶ！ はじめてのテキストマイニング』ナカニシヤ出版、2022年を参照。
- 図の読み方:次ページ以降の図を読む際は、以下に留意が必要。
 - 語の丸の大きさは、データ中の語の出現回数を示す。
 - 語と語が線で結ばれている場合は、各語がデータ中で関連して使われていることを示す。線が濃いほど、関連性が大きい。
 - つながっている語同士は、グループをなす。色分けされている。

(6) どのような引継ぎがありましたか(方法や内容など)。回答:76件

出現回数	抽出語
47	業務
34	引継ぎ
32	マニュアル
19	説明
18	口頭
17	OJT
15	前任者
13	行う
10	システム, 管理, 図書館, 対応
9	対面, 方法
8	共有, 時間
7	作業, 資料, 受ける
6	引き継ぎ, 引継ぐ, 図書
5	ファイル, 引継, 概要, 月, 実際, 手順, 担当, 分類
4	一緒, 覚える, 期間, 記録, 具体, 紙, 多い, 内容, 年間, 発生, 判断, 聞く, 流れ
3	データ, 異動, 運営, 課題, 関係, 基準, 基本, 見る, 更新, 作成, 質問, 実施, 実地, 受入, 週間, 情報, 全体, 全般, 操作, 他, 退職, 知識, 点訳, 独自, 文書
2	One, いつ, スケジュール, ルーティン, レクチャー, レファレンス, 以降, 委託, 違う, 運用, 沿う, 音訳, 確認, 簡単, 基づく, 機関, 教える, 勤務, 元, 仕事, 使い方, 実務, 主, 十分, 詳細, 常に, 専門, 蔵書, 多く, 提示, 電子, 登録, 特定, 難しい, 配架, 配布, 不明, 付与, 部分, 分かる, 方針, 毎日, 利用者
1	1x{301c}2, ILL, NACSIS-ILL, NDC, on, 4月, お互い, すべて, ほか, やり方, アカウント, アルバイト, カバー, サピエ, ジャーナル, チーム, デモ, トラブル, トリガー, ドキュメント, パターン, フォルダ, フロー, ボランティア, ポジション, メール, リスト, リポジトリ, ローテーション, ワンパーソン, 案内, 依存, 依頼, 育成, 一通り, 一度, 一部, 引き継ぐ, 閲覧

- マニュアルに基づく引継ぎが多いことが看取される。
- 口頭による説明も多い(次スライドも参照)。
- OJTの実施もある。

(6)



- 引継ぎが行われる場合、マニュアルとOJTの関連がある
⇒マニュアルに基づく引継ぎとOJTによる引継ぎがともに行われる傾向。
- 対面による説明も行われているが、概要に留まる場合もあり。
- 図書館システム等のシステム関連、資料に関連する引継ぎも行われている。

(6)の回答例(抜粋)

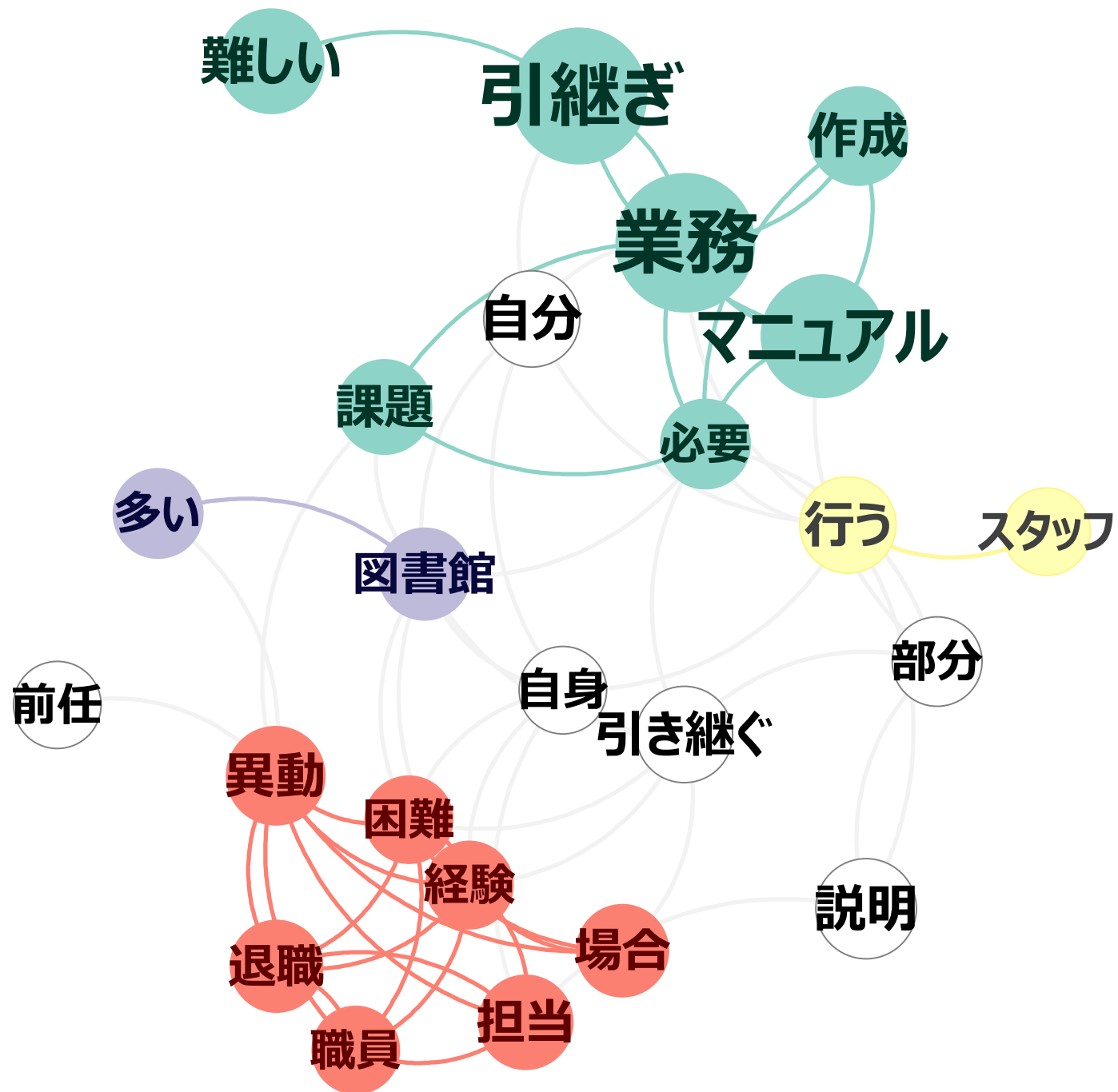
当日配布資料限り

(8) 業務の引継ぎについて感じた課題やご意見について、具体的にお答えください。回答:46件

出現回数	抽出語
33	業務
31	引継ぎ
23	マニュアル
13	難しい
11	説明
10	異動, 作成
9	引き継ぐ, 行う, 自分
8	課題, 担当
7	場合, 図書館, 退職
6	多い, 必要, 部分
5	スタッフ, 経験, 困難, 時間, 自身, 実務, 職員, 前任
4	ケース, 引き継ぎ, 勤務, 後任, 資料, 状況, 前, 判断, 範囲, 方法
3	違う, 育成, 引継ぐ, 運営, 過去, 教える, 現在, 個人, 雇用, 仕事, 司書, 実施, 新しい, 専門, 知識, 伝える, 内容, 負担, 利用
2	システム, レベル, 移管, 医学, 可能, 概要, 完全, 期間, 記録, 急, 苦労, 形, 経緯, 継承, 検索, 限る, 更新, 考える, 産休, 思う, 指導, 実感, 手間, 重要, 新任, 人, 人員, 図書, 生じる, 全く, 組織, 増加, 他, 代替, 知る, 程度, 日々, 年間, 能力, 発生, 未経験, 要員, 理解
1	fax, job, OJT, on, training, しり込み, アップデート, アルバイト, ガラパゴス, ゲーム, サブジェクト, データフォルダ, ニュアンス, フォロー, フロー, マイ, メール, メンテナンス, メンバー, ライブラリアン, ルーティン, ルール, ワンパーソンライブラリー, 安心, 委ねる, 異なる, 移動, 違い, 育つ, 育休, 一致, 一度, 引き継げる, 引き取る, 引継, 運用, 遠慮, 回せる, 改善, 概ね, 管理, 簡易, 簡単, 簡略, 間近, 関わる, 危惧す, 基準, 基本, 規模, 逆, 急務

- 多種多様な意見が寄せられたが、全体的な傾向を見出しがなかった。
- 各館の実情により、課題は異なるが、それを共通の語彙で語ることが難しい？

(8)



- 業務の引継ぎにおけるマニュアルの必要性が見て取れる一方で、引継ぎの難しさも見られる。
- 困難さについては、異動や退職、職員など、人事や制度と関連があることがわかる。

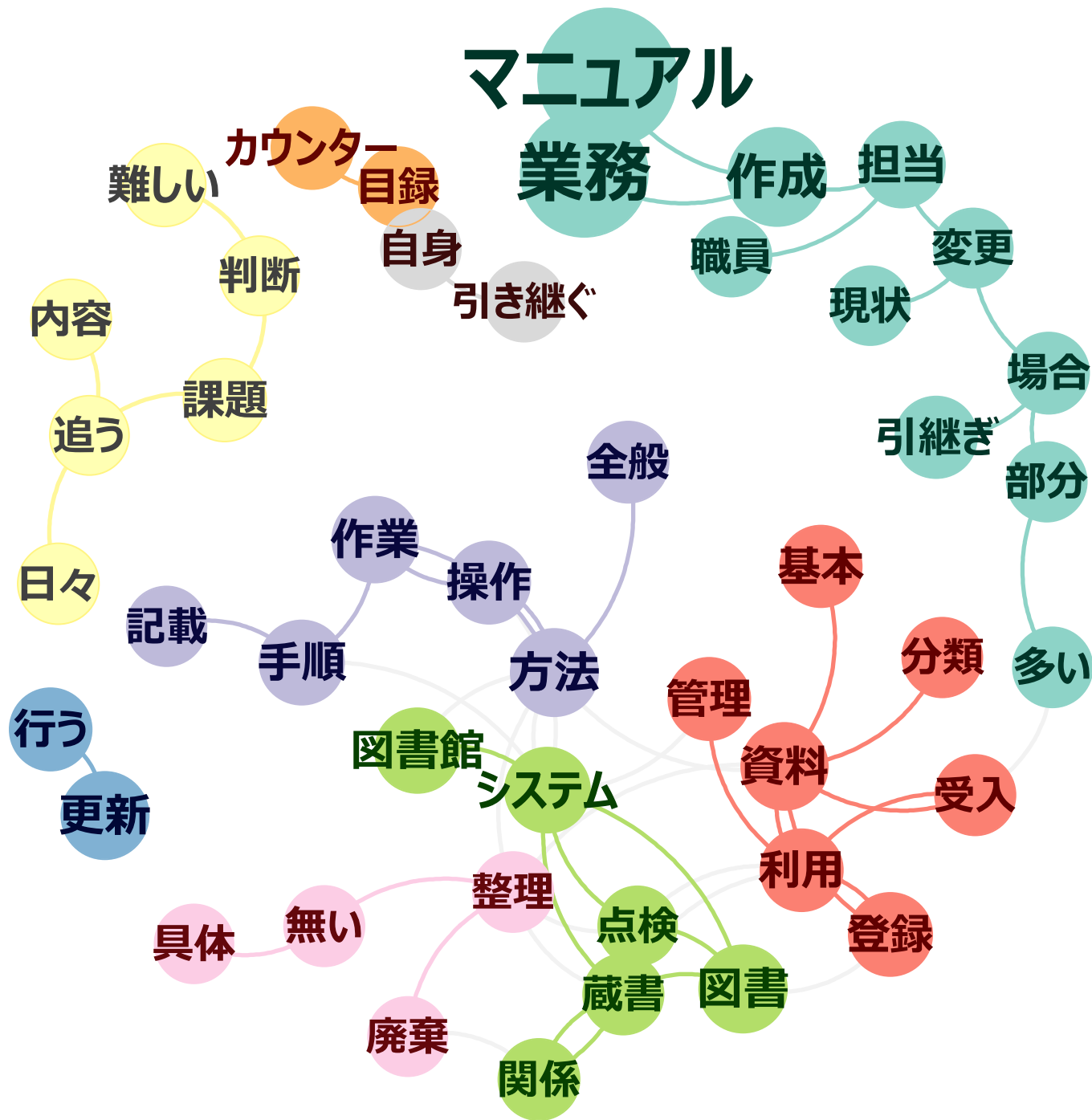
(8)の回答例(抜粋)

当日配布資料限り

(10) どのような業務にマニュアルがあるのか(または、ないのか)、具体的にお答えください。また、マニュアルに関する課題やご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。回答:93件

出現回数	抽出語
136	マニュアル
105	業務
39	作成
19	更新, 図書, 方法
18	資料
16	作業, 担当
15	システム, 対応
14	レファレンス, 手順, 図書館
12	登録, 必要
11	課題, 難しい
10	カウンター, 管理, 行う, 操作, 利用
9	引継ぎ, 基本, 経験
8	関係, 場合, 人, 全般, 日々
7	自身, 受入, 整理, 蔵書, 内容, 無い
6	引き継ぐ, 記載, 作る, 自分, 職員, 多い, 部分, 分類
5	具体, 現状, 細かい, 残す, 実務, 整備, 前任, 追う, 点検, 廃棄, 判断, 変更, 目録
4	すべて, スケジュール, スタッフ, ツール, 異なる, 運用, 可能, 改訂, 基準, 古い, 雑誌, 時間, 全て, 装備, 存在, 知識, 日常, 年, 年間, 複数, 流れ
3	Excel, ある程度, サービス, ルール, 維持, 一部, 閲覧, 各種, 記す, 記録, 急, 契約, 継承, 見る, 後任, 項目, 差, 最新, 事務, 実施, 社内, 主, 収書, 除籍, 少ない, 選書, 全体, 定型, 統計, 独自, 変わる
2	HP, OJT, PC, SOP, やり方, カバー, サイト, データ, ファイル, リスト, ルーティン, 依頼, 意味, 一通り, 運営, 応用, 架, 回答, 開館, 概要, 刊行, 慣れる, 含む, 含める, 寄贈, 機関, 共有, 苦労, 計画, 見学, 見直し, 現在, 現場, 言う, 個別, 効率, 口頭, 今後, 困る, 細分

- マニュアルの有無にかかわらず、回答全体で頻出する語の一覧。
- この表からは、どのような業務にマニュアルがあるのか／ないのかは不明だが、マニュアルに対する回答者の関心の所在が看取される。



- 以下の語は相互に関連性がある
 - 「判断」と「難しい」
 - 「具体」と「無い」
 - 「部分」と「多い」

⇒マニュアルがあっても具体的ではない、判断を要することはマニュアル化することが困難とされていることが見て取れる。

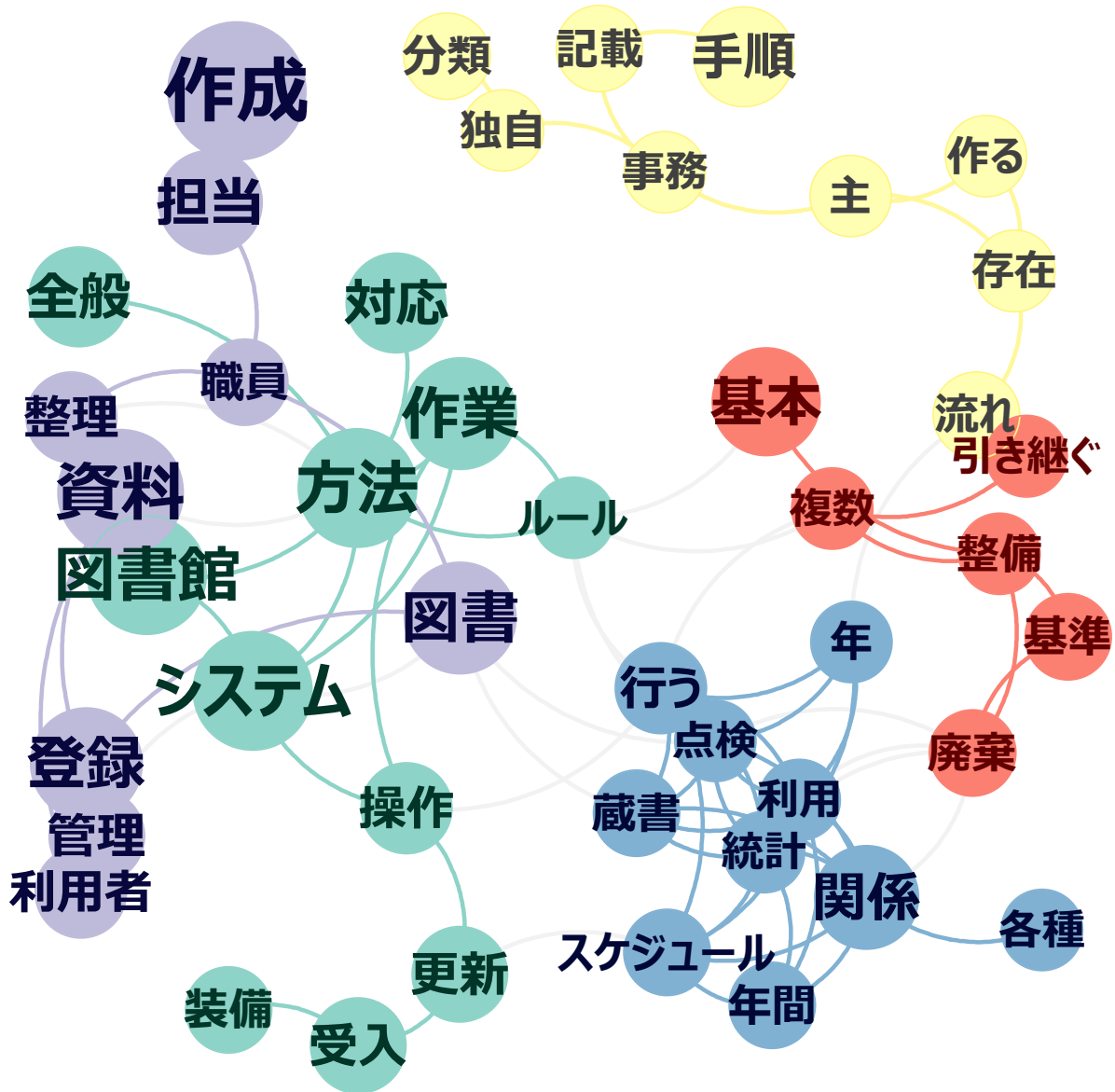
(10)マニュアルありに限定 回答81件

出現回数	抽出語
18	作成
14	資料
12	システム, 図書館, 方法
10	カウンター, 作業, 図書, 登録
9	基本
8	関係, 担当
7	手順, 全般, 対応
6	管理, 更新, 受入
5	行う, 実務, 整理, 操作, 目録, 利用者
4	スケジュール, 基準, 記載, 職員, 装備, 蔵書, 年間, 廃棄, 分類, 流れ
3	ルール, 引き継ぐ, 各種, 作る, 雑誌, 事務, 主, 整備, 存在, 点検, 統計, 独自, 年, 複数, 利用
2	HP, ILL, すべて, サービス, スタッフ, ルーティン, レファレンス, 一通り, 一部, 引継ぎ, 運用, 閲覧, 回答, 開館, 概要, 刊行, 寄贈, 記す, 契約, 古い, 項目, 細かい, 残す, 使い方, 使用, 時期, 自身, 自分, 実施, 収集, 収書, 順次, 書誌, 除籍, 製本, 前任, 全て, 全体, 多い, 貸出, 調査, 定期, 定型, 定例, 日々, 日常, 入力, 文書, 毎月, 明確, 来館, 例
1	DB, Excel, NDC, PC, SOP, ToDo, Word, ある程度, ほか, カバー, ケースバイケース, チェックポイント, ツール, データ, データベース, フロー, ページ, リスト, 以降, 委員, 異なる, 移行, 一定, 一連, 引継, 運営, 加筆, 可能, 火災, 箇所, 画面, 会議, 会計, 改訂, 活用, 簡易, 簡単, 関連, 館, 基礎, 機関, 機器, 帰宅, 議会, 休み, 休館, 急, 共通, 共有

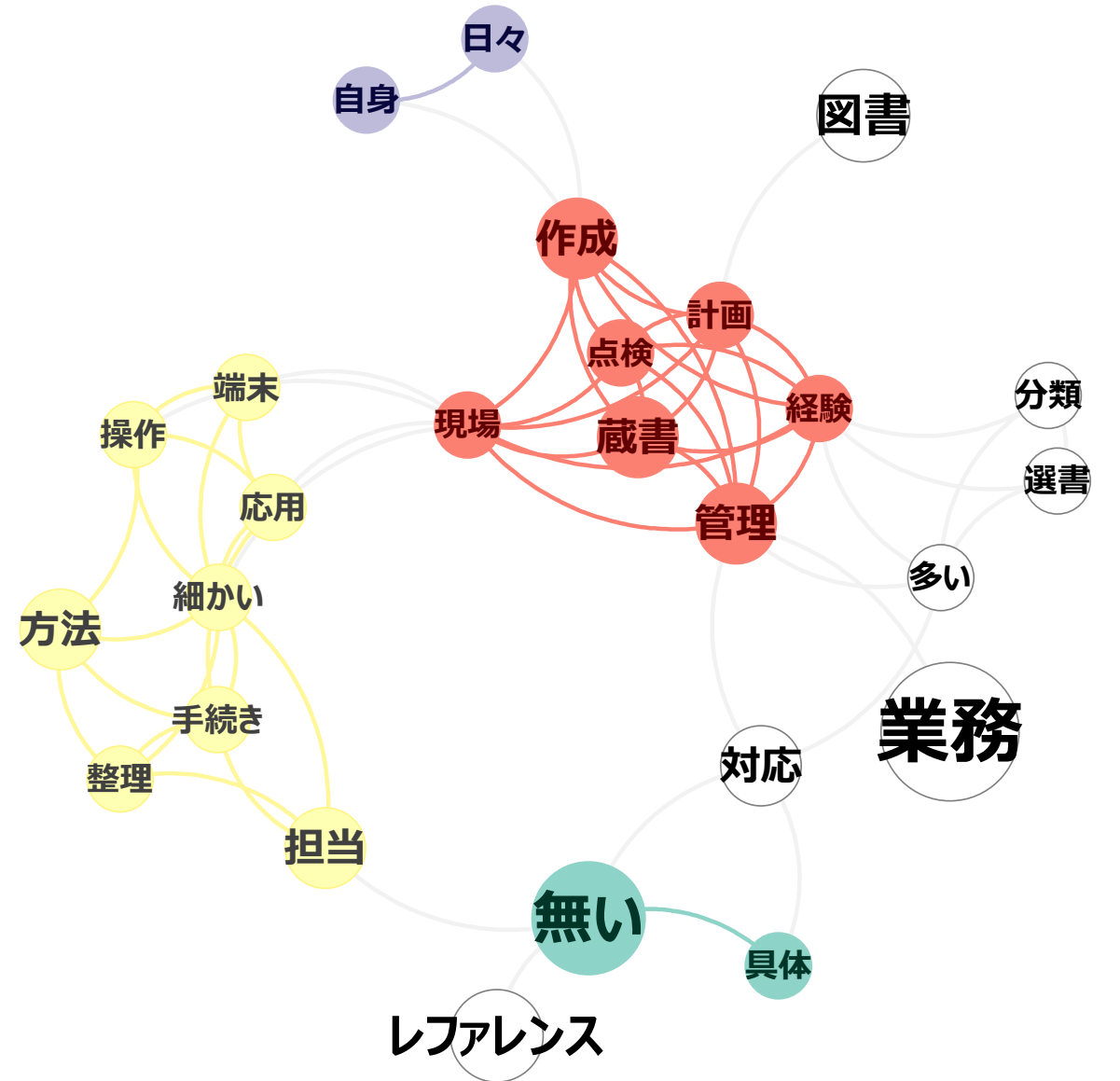
(10)マニュアルなしに限定 回答22件

出現回数	抽出語
9	業務
6	無い
4	レファレンス, 資料, 図書
3	管理, 作成, 蔵書, 対応, 担当, 方法
2	応用, 具体, 経験, 計画, 現場, 細かい, 自身, 手続き, 整理, 選書, 操作, 多い, 端末, 点検, 日々, 分類
1	OJT, PC, ある程度, アーカイブ, アクション, システム, ツール, デジタル, マネジメント, リスト, ワンパーソン, 依頼, 異なる, 異動, 移動, 一切, 引き継ぐ, 運営, 音訳, 可能, 会社, 回避, 改変, 外部, 記録, 逆流, 勤める, 結果, 兼任, 見据える, 原因, 現状, 個別, 後年, 工夫, 構築, 困る, 作る, 作業, 策定, 残す, 仕事, 仕方, 思う, 至る, 時間, 自分, 実体験, 若干, 取れる, 手順, 受入, 収書, 除籍, 少ない, 職員, 図書館, 全般, 相手, 相談, 属人, 存在, 貸し出し, 担う, 知識, 中長期, 長い, 長年, 伝える, 登録, 導入, 内部, 難しい, 把握, 廃棄, 発信, 判断, 番号, 頻繁, 不便, 付与, 複雑, 複写, 分担, 変わる, 便利, 保存, 方向, 無効, 役割, 利用, 歴代

(10)マニュアルありに限定 回答81件



(10)マニュアルなしに限定 回答22件

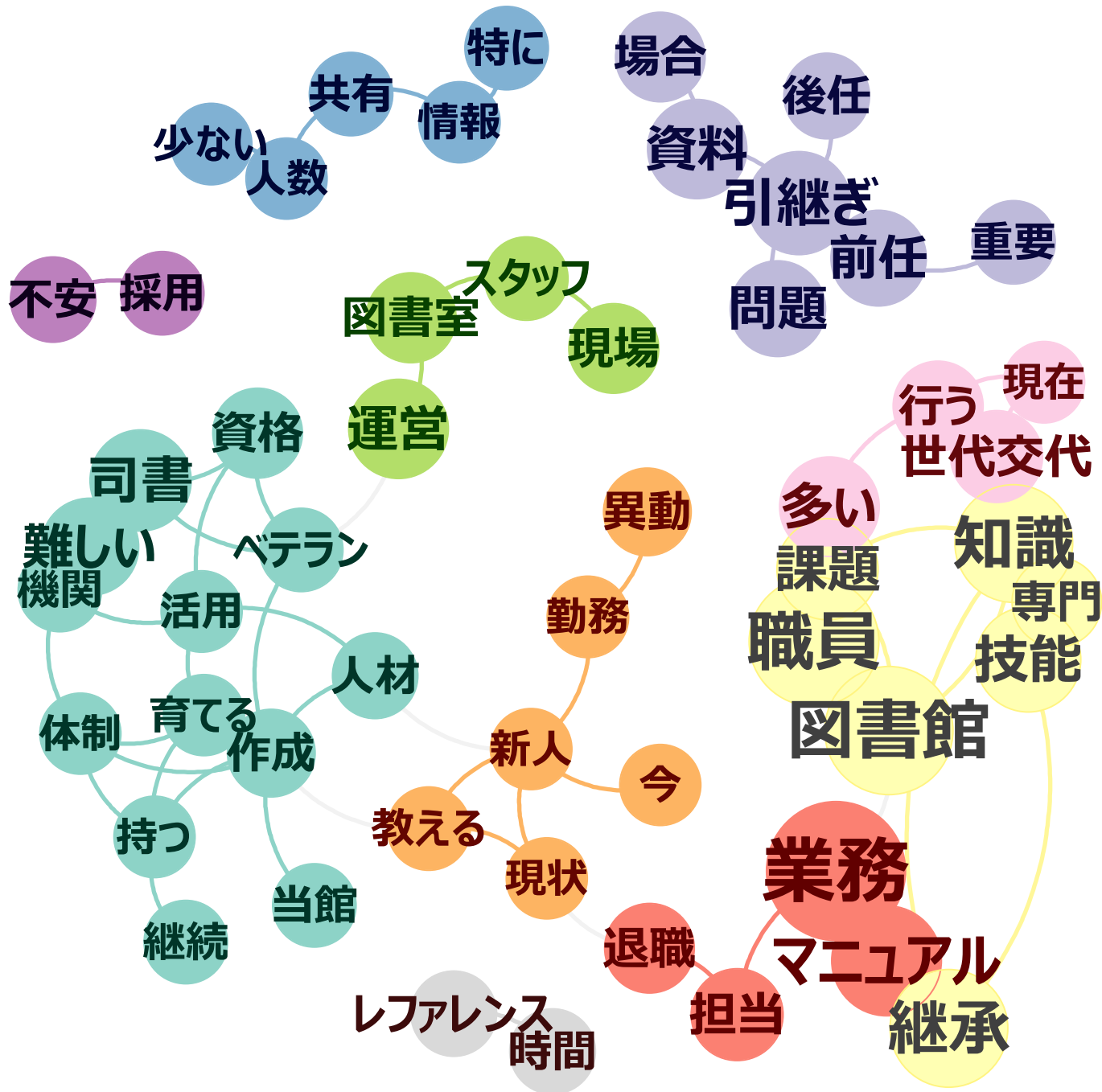


(10)の回答例(抜粋)

当日配布資料限り

(12) 図書館運営等に関する知識や経験、技能の継承や職員の世代交代について、ご自由にお書きください。回答:84件

出現回数	抽出語
40	業務
33	職員
32	図書館
25	継承, 知識
24	経験
20	マニュアル
18	世代
17	技能
16	引継ぎ, 自分, 必要
15	課題, 司書
14	運営, 資料, 多い
13	難しい
12	前任, 問題
11	雇用, 人
10	世代交代, 担当
9	引き継ぐ, 現場, 行う, 資格, 場合, 図書室, 専門, 退職
8	異動, 作成, 専門図書館
7	レファレンス, 後任, 仕事, 時間, 人材, 不安
6	スタッフ, ベテラン, 機関, 共有, 教える, 継続, 採用, 重要, 当館, 特に
5	育てる, 活用, 勤務, 現在, 現状, 今, 今後, 持つ, 自身, 出来る, 少ない, 情報, 新人, 人数, 図書, 体制, 内容
4	AI, ワンパーソン, 引き継ぎ, 過去, 求める, 減る, 残る, 次, 次世代, 辞める, 若い, 十分, 人員, 整備, 専門性, 組織, 対応, 長い, 定年, 働く, 配属, 不足, 方針, 方法, 利用, 利用者
3	一気に, 一緒に, 引継ぐ, 可能, 確保, 学校, 管理, 期間, 強い, 苦労, 研究, 言う, 個人, 効率, 作業, 残す, 事務, 時代, 実施, 若手, 受ける, 書誌, 省力, 場面, 状況, 状態, 職場, 進める, 人事, 先輩, 専任, 前, 全く, 全員, 全体, 他, 知る, 蓄積, 中心, 途絶える, 特定, 配置, 非常勤, 部分, 複数, 変わる, 方向, 様子, 理解
2	MARC, ギャップ, システム, スタート, デジタル, レベル, 扱う



- 前任者からの引継ぎ、後任に対する引継ぎへの問題意識
- 担当業務に関するマニュアル整備
- 知識・技能の継承に対する課題
- 司書資格と体制整備
- レファレンスについては時間が必要
- 採用に対する不安

(12)の回答例(抜粋)

当日配布資料限り

(12)の回答例(抜粋)

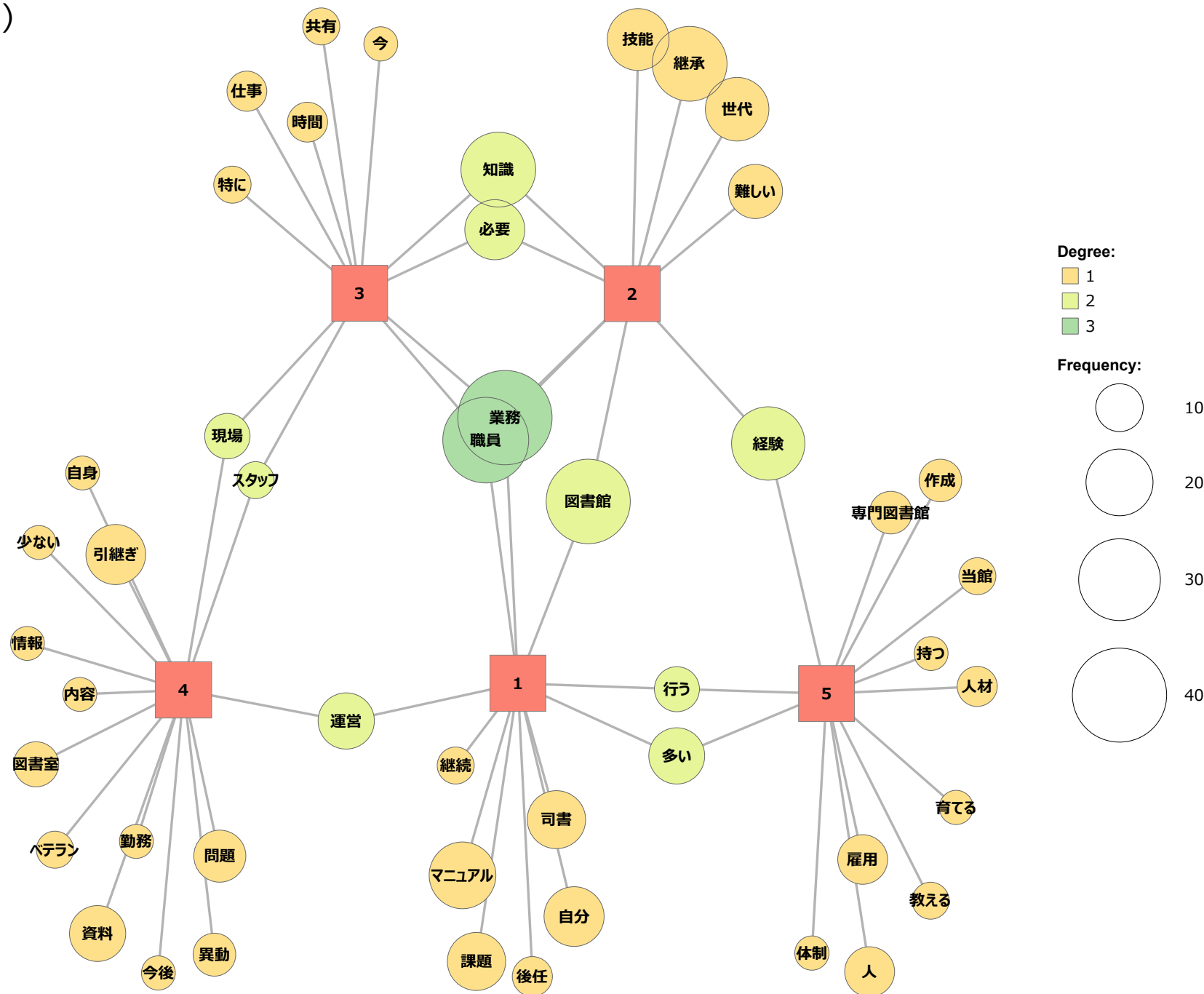
当日配布資料限り

(12)の回答例(抜粋)

当日配布資料限り

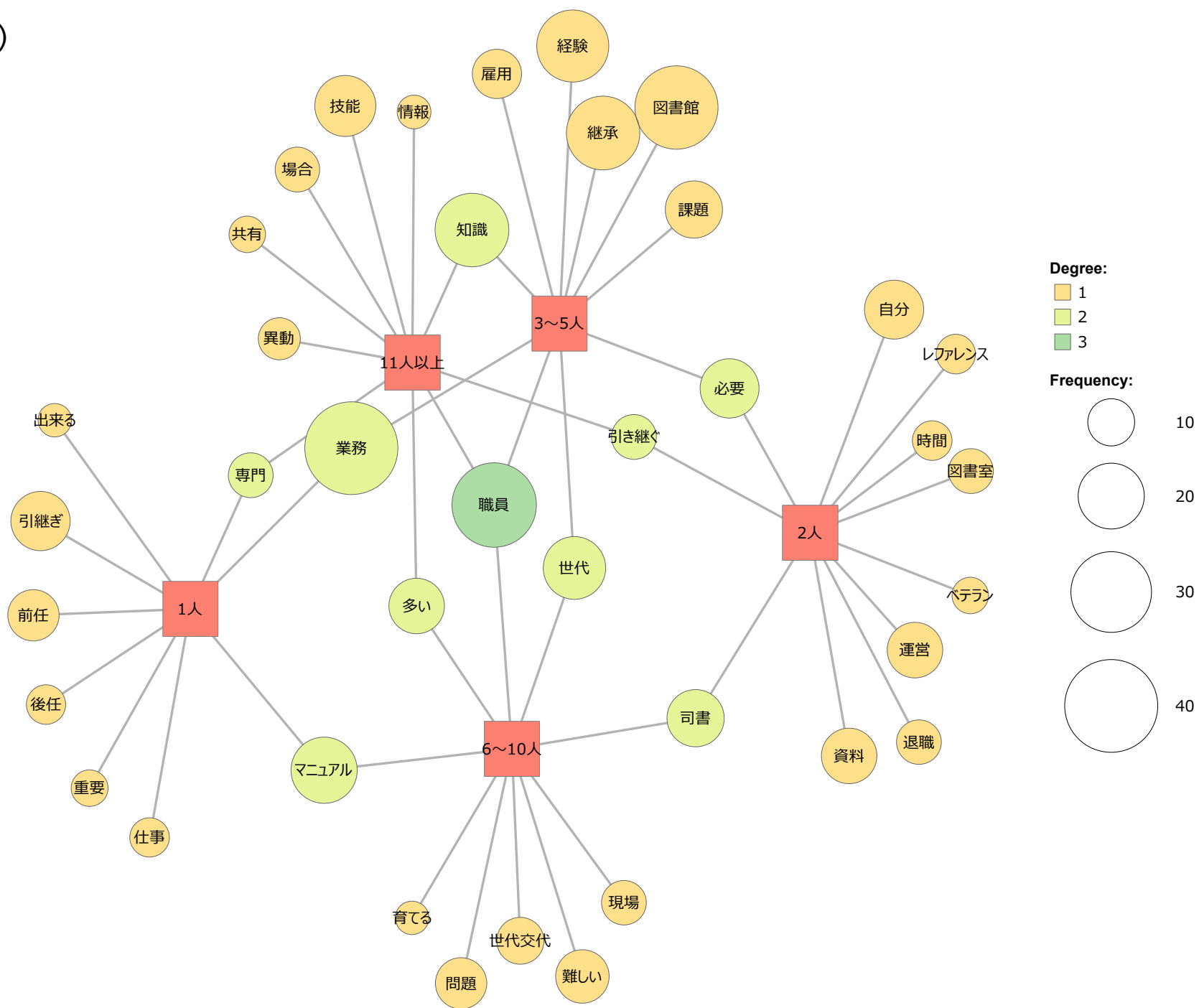
(12)の回答例(抜粋)

当日配布資料限り



- 課題意識(1~5)ごとに、語同士の関連性を示す共起ネットワーク図。線が濃いほど、関連性が大きいことを示す。
 - 1(n=22):後任への引継ぎ自体の課題(後任、課題、継続)。
 - 2(n=36):知識・技能・経験の継承の困難さ(技能、継承、難しい)。
 - 3(n=18):OJT等で一緒に仕事することの重要性(仕事、時間)。
 - 4(n=6):どのように引継ぎを進めていくか(引継ぎ、内容)。
 - 5(n=2):人材育成、体制整備(人材、育てる)。
- 課題意識ごとに、継承や世代交代に関する異なる関心。ただし、4, 5は回答数が少ないことに留意が必要。

(12)



- スタッフ数ごとに、語同士の関連性を示す共起ネットワーク図。線が濃いほど、関連性が大きいことを示す。
 - 1人(n=14):引継ぎの実現可能性(前任・後任・出来る)
 - 2人(n=9):特定人物への依存リスク(ベテラン・退職)
 - 3~5人(n=39):雇用も含めた構造的・制度的問題(継承・課題・知識・専門)
 - 6~10人(n=13):育成・世代交代の困難(育てる・難しい)
 - 11人以上(n=9):組織的な知識共有(異動・共有・技能)
- 職員や知識・引継ぎに関する問題は規模によらないが、規模により、問題の認識に構造的な差異がある

5. まとめ

- 本アンケート回答者は、全体として世代交代や引継ぎについて課題意識を感じている。
 - ただし、本アンケートに回答する時点で、アンケートテーマに関心がある人に限定されていることに注意が必要である。
- マニュアルは一定程度整備されている館が多い。そして、マニュアルがあることは、引継ぎの実施と関連している。
 - ただし、マニュアルの内容や更新には課題を感じている人も多い。
- 課題意識は、館の規模との関連性が見られる。1人・6～10人の場合には、課題を感じている。一方で、2人と11人以上では相対的に課題を感じていない。
 - ワンパーソンライブラリーにおける業務引継ぎに大きな課題があることが、本アンケートによっても確認された。
 - 一方で、一定の規模があることが、必ずしも業務引継ぎ問題の解消につながらないことも確認された。スタッフ数の減少等の要因が影響している可能性もあるか。
 - ただし、今回のアンケートでは、スタッフの雇用形態を加味していないことに留意が必要。
- 単にマニュアルが整備されるだけでは、専門図書館の業務の継承には不十分であると認識していることが看取される。

本アンケートの課題

- 「マニュアル」や「引継ぎ」という語に対する認識の差異。館ごとの差異？
- 雇用問題。
- 図書館(室)運営の形態(業務委託など)。
- 人員の増減と業務の継続性との関係性。